

## Matrix Maker for KBJ シリーズ

## Matrix Maker for MKBJ シリーズ

## キー割当て設定ソフト説明書

Product Model	Matrix Maker for KBJ Version:KB78/KB66A/KB67 Matrix Maker for MKBJ Version:KB78
Support OS	Windows 9x Windows Me Windows 2000 Windows Vista Windows 7(32bit/64bit) Windows 8(32bit/64bit) Windows 8.1(32bit/64bit) Windows 10(32bit/64bit)

## 変更履歴

版	日付	担当者	更新内容
0001-01	2015/10/07	J.W.	初版
0001-02	2016/04/26	Y.N.	「VI.補足事項・よくある質問」を追加
0001-03	2016/12/13	Y.N.	「IV-2. Layer Index」を修正
0001-04	2017/07/20	Y.N.	「IV-5. Multiple key」に KBJ を追加
0001-05	2017/11/13	Y.N.	割当可能キーを変更 256 → 180

# 目次

I. はじめに .....	- 3 -
II. インストールとアンインストール .....	- 3 -
II-1. インストール .....	- 3 -
II-2. アンインストール .....	- 6 -
III. キーボード・キーロック・磁気カードリーダー設定画面 .....	- 8 -
III-1. 設定ソフト起動と設定画面 .....	- 8 -
III-2. キーボード キー割当て設定 .....	- 10 -
III-3. キーロック キー割当て設定 .....	- 15 -
III-4. 磁気カードリーダーデータの読み取り .....	- 18 -
III-5. 磁気カードリーダー読み取り表示設定 .....	- 20 -
IV. その他の設定機能 .....	- 22 -
IV-1. ASCII Code .....	- 22 -
IV-2. Layer Index .....	- 23 -
IV-3. Keyboard Setting .....	- 29 -
IV-4. Enter Test Mode .....	- 29 -
IV-5. Multiple key .....	- 30 -
IV-5-1. Multiple keyの設定 (KBJシリーズの場合) .....	- 30 -
IV-5-2. Multiple keyの設定 (MKBJシリーズの場合) .....	- 32 -
V. 設定画面詳細 .....	- 36 -
V-1. 設定画面メニューバー .....	- 36 -
V-2. キー割当て設定ファイルの保存、読み込み .....	- 37 -
V-3. Key Code画面 .....	- 39 -
VI. 補足事項・よくある質問 .....	- 41 -
VII. 保証事項 .....	- 43 -
VII-1. 保証期間 .....	- 43 -
VII-2. 保証対象 .....	- 43 -
VII-3. 有償保証 .....	- 43 -
VII-4. 仕様変更 .....	- 43 -

## I. はじめに

本説明書はプログラマブルキーボード KBJシリーズ、プログラマブルキーボード MKBJシリーズのキー割当て等の設定を行なう専用ソフトウェア Matrix Maker for KBJシリーズ、プログラマブルキーボード MKBJシリーズの設定や操作の説明を記載しています。

## II. インストールとアンインストール

### II-1. インストール

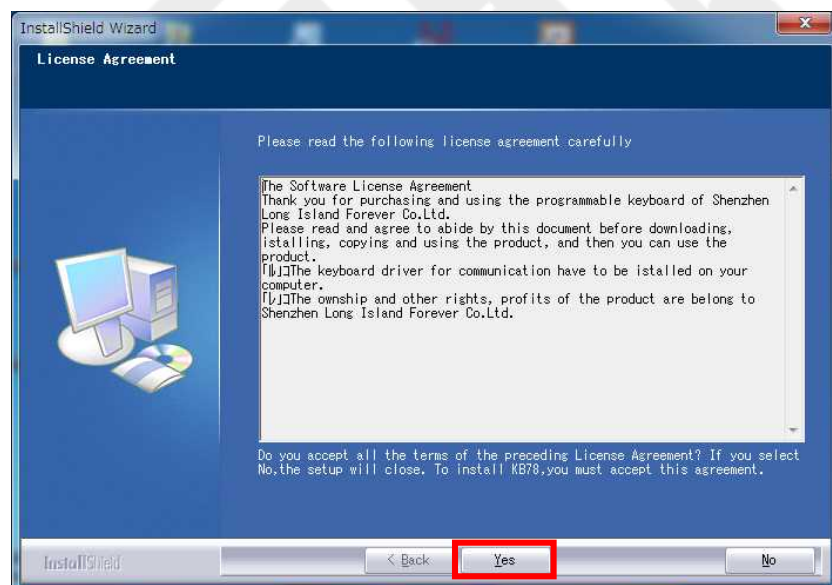
付属 CD-ROM 内には本マニュアルとキー割当て設定ソフト Matrix Maker for KBJシリーズ、プログラマブルキーボード MKBJシリーズの実行ファイルが入っています。

① "setup.exe" をダブルクリックすると Setup が始まり進行画面が表示されます。

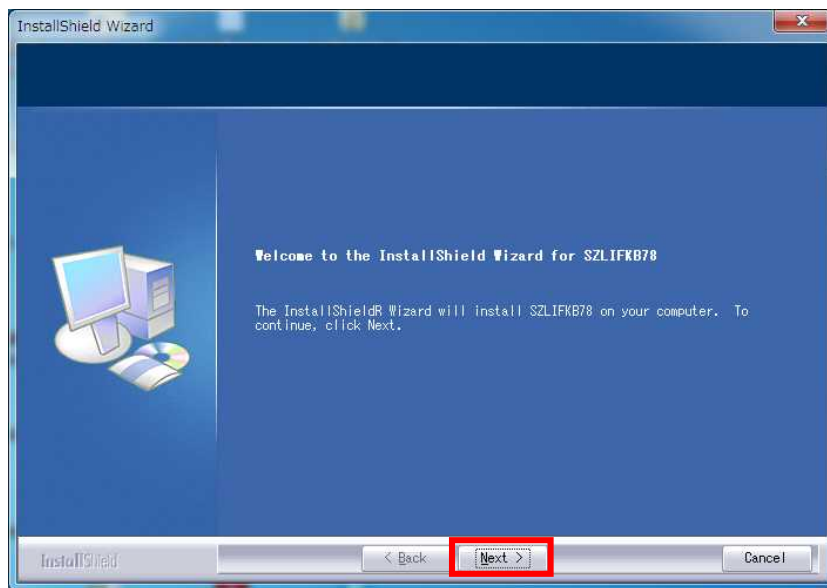


② その後、[License Agreement]画面が表示されます。

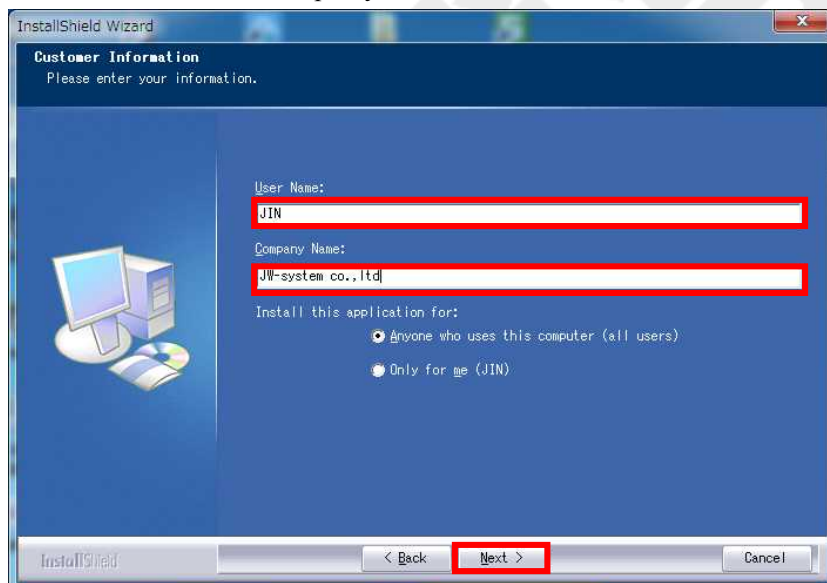
"Yes" をクリックして下さい。



- ③ [Welcome to the InstallShield Wizard for SZLIFKB78]画面が表示されます。  
"Next"をクリックして下さい。

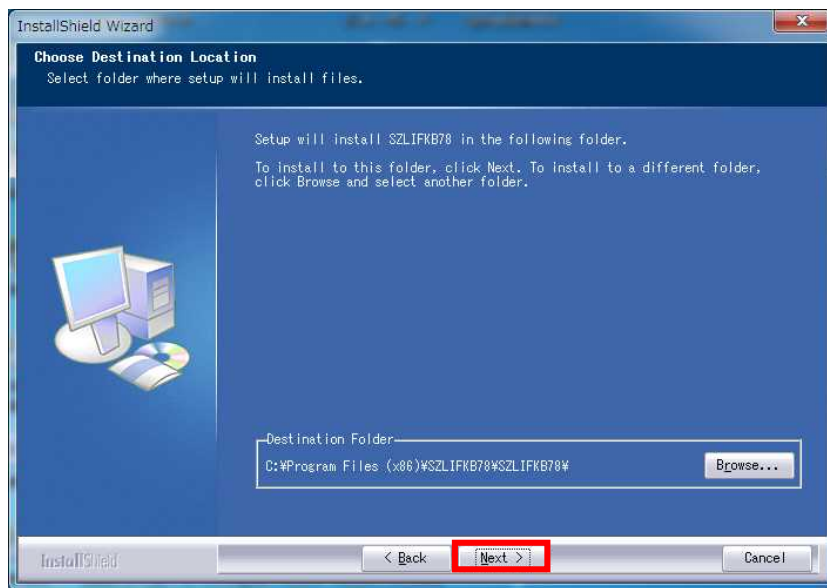


- ④ [Customer Information]画面が表示されます。  
<User Name>と<Company Name>を任意で入力し、"Next"をクリックして下さい。

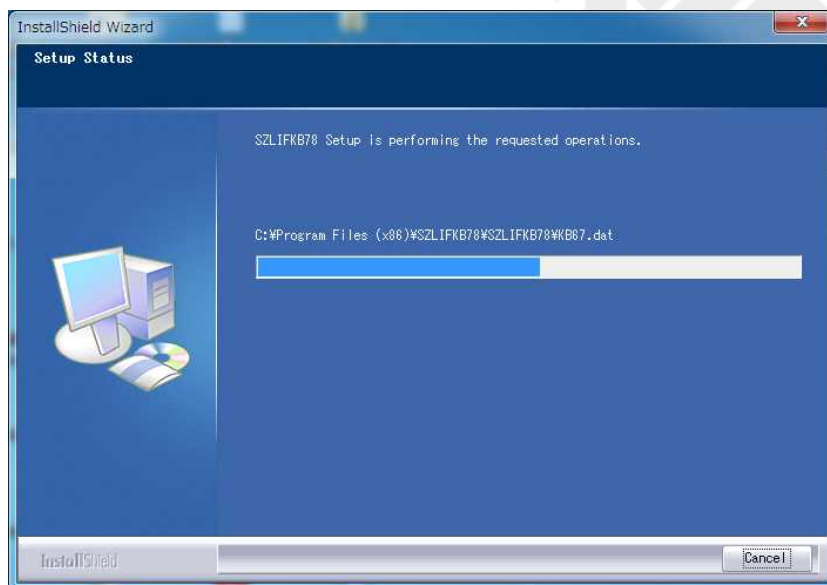


⑤ [Choose Destination Location]画面が表示されます。

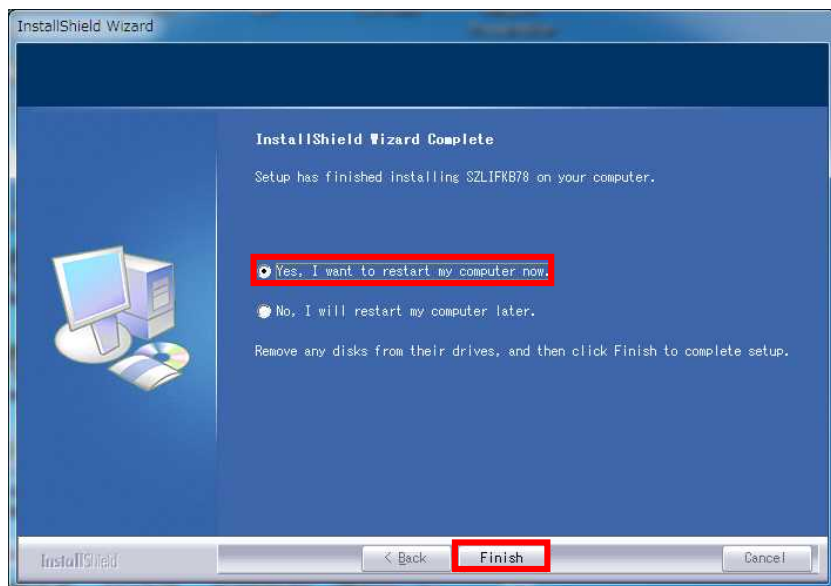
インストール先ディレクトリを任意に指定し"Next"をクリックして下さい。



⑥ インストール処理の進行画面が表示されます。

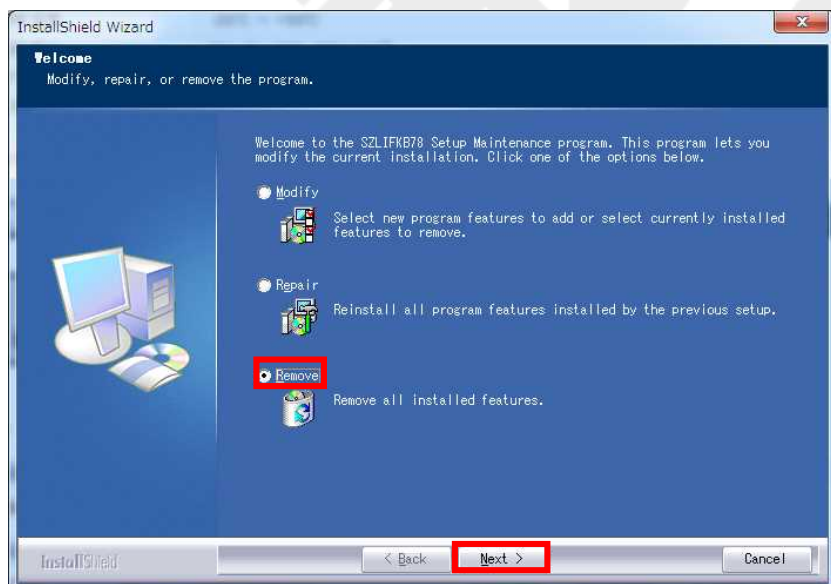


⑦ [InstallShield Wizard Complete]画面が表示されインストール処理が完了されます。  
<Yes, I want to restart computer now.>を選択し、"Finish" をクリックし、PC を再起動させて下さい。再起動後にキー割当て設定ソフト Matrix Maker for KBJ が利用できます。

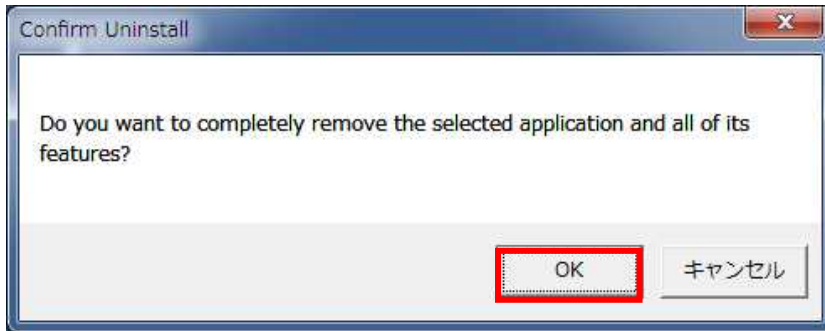


## Ⅱ-2. アンインストール

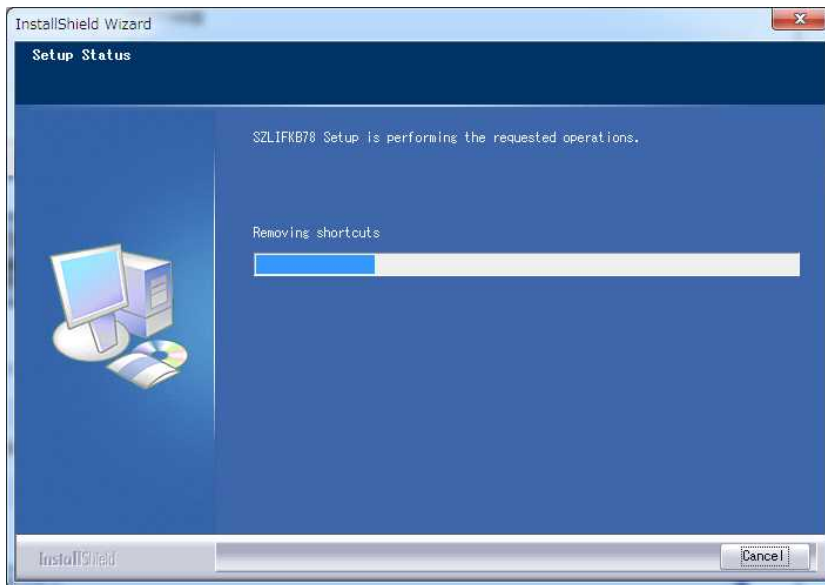
① {スタートメニュー -> すべてのプログラム -> KB78 -> UNINSTALL}を選択すると [InstallShield Wizard]画面が表示されます。<Remove> を選択し"Next"をクリックして下さい。



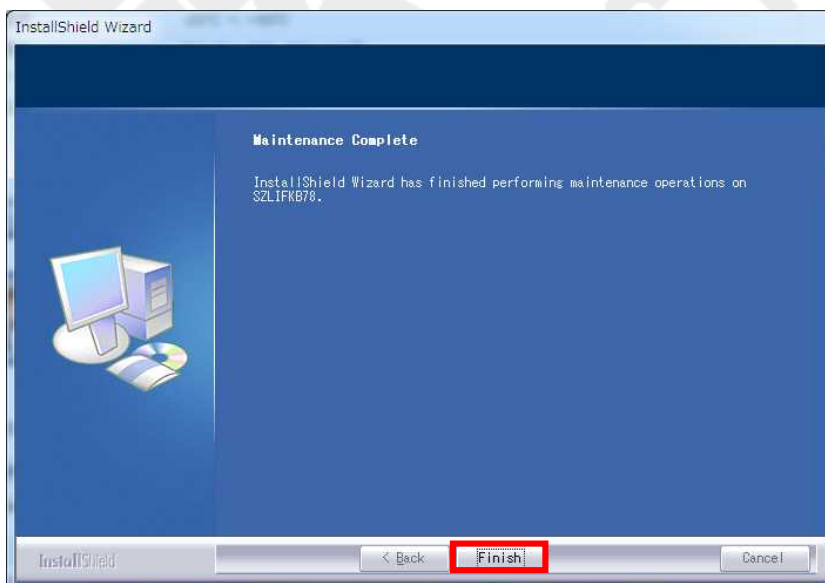
② [Confirm Uninstall]画面が表示されます。"OK"をクリックして下さい。



③ アンインストール処理の進行画面が表示されます。



④ [Maintenance Complete]と表示されアンインストール処理が完了されます。"Finish"をクリックして完了して下さい。

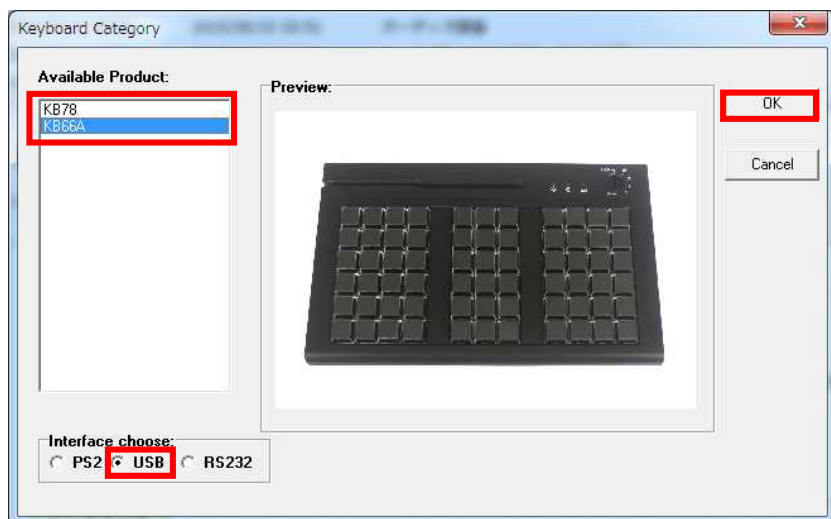


### Ⅲ. キーボード・キーロック・磁気カードリーダー設定画面

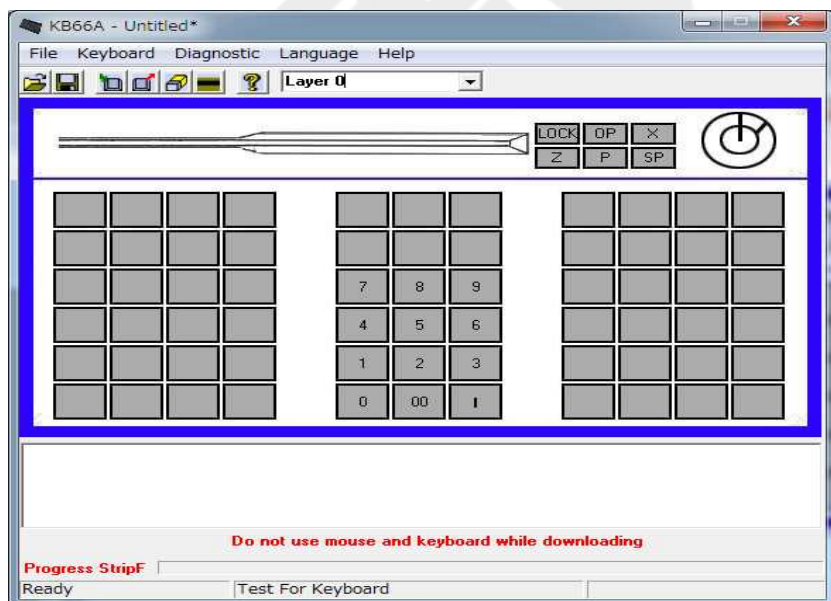
#### Ⅲ-1. 設定ソフト起動と設定画面

① {スタートメニュー -> すべてのプログラム -> KB78 ディレクトリ -> KB78} を選択してキー割当て設定ソフト Matrix Maker を起動させて下さい。

<USB> を選択し、キーボードモデル <KB66A> を選択して下さい。例では 66 キー キーボードを選択しています。78 キー キーボードの場合は、<KB78> を選択します。



② キーボードキー数のレイアウト画面が表示されます。こちらの画面より設定するキーを選択して割当てや全般の設定を行います。

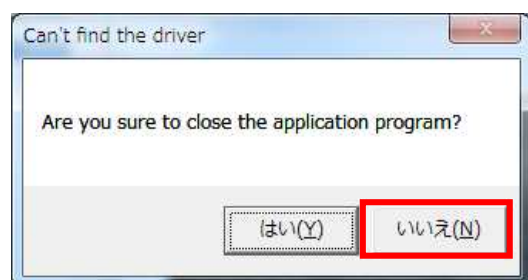




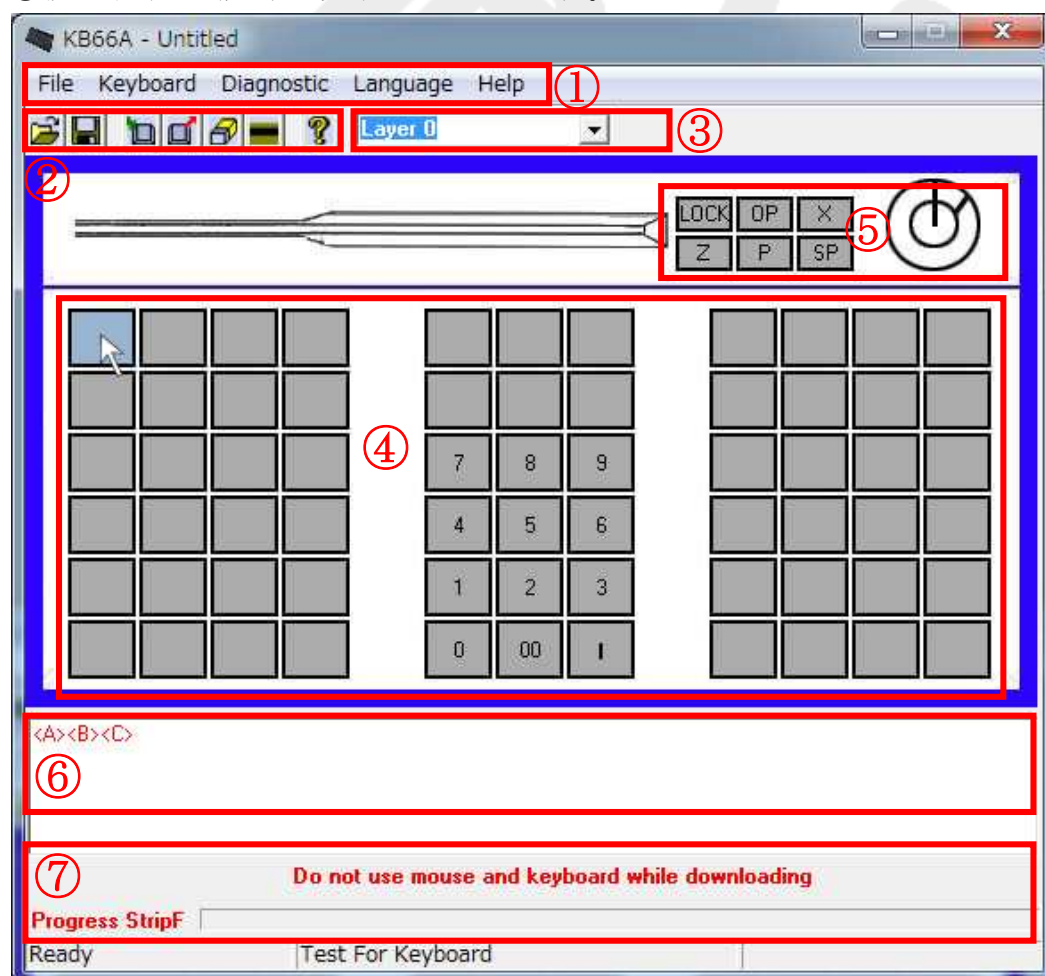
**注意!**

PC にキーボードが接続されていない場合は<Can't find The USBHID keyboard!>が表示されます。

③ ソフトを起動する場合は"いいえ(N)"、起動しない場合は"はい(Y)"をクリックして下さい。



④ 設定画面の概要は以下のとおりです。

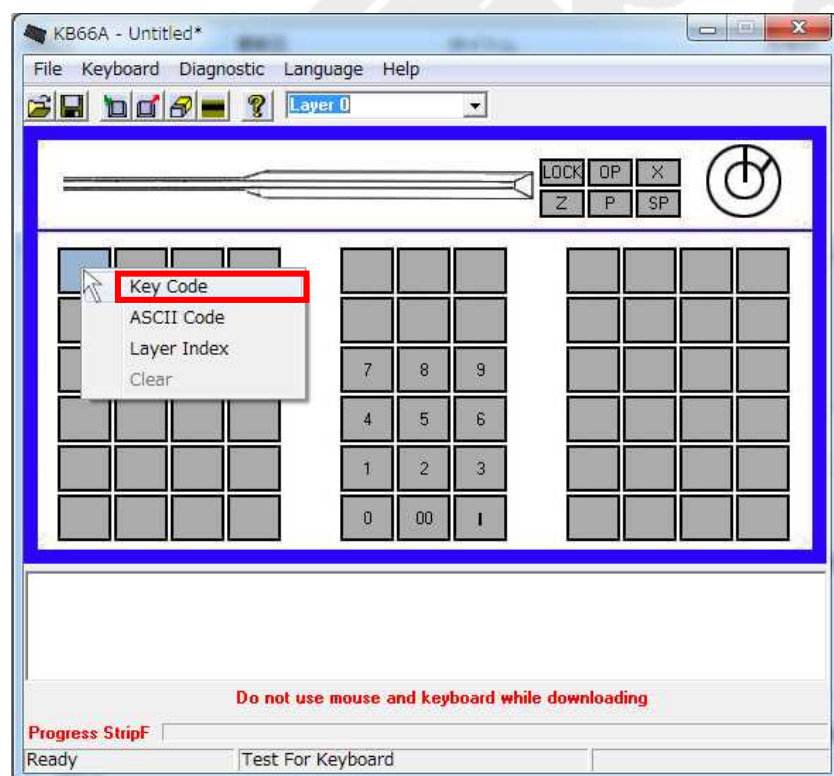


①メニューバー	ファイル(File)、キーボード設定 (Keyboard) 等の基本メニューです。
②アイコン	メニューバーから頻繁に使われる機能をアイコンで操作できます。
③レイヤーセレクト	キー割当て設定を行なうレイヤー0 (デフォルト) ~レイヤー15 を選択します。
④キーボード割当てキー	キーボード上でキー割当て設定を行なうキーです。
⑤キーロック位置割当てキー	キーロック鍵位置 (LOCK,OP,X,Y,Z) でキー割当て設定を行なうキーです。
⑥キー割当て内容表示	マウスポインタをキー上に持ってくるとキーに割当てられた内容が赤文字で表示されます。
⑦書読込進行表示	設定ソフトからキーボードメモリへ設定内容を読み書きしている際の進行状態を表示します。

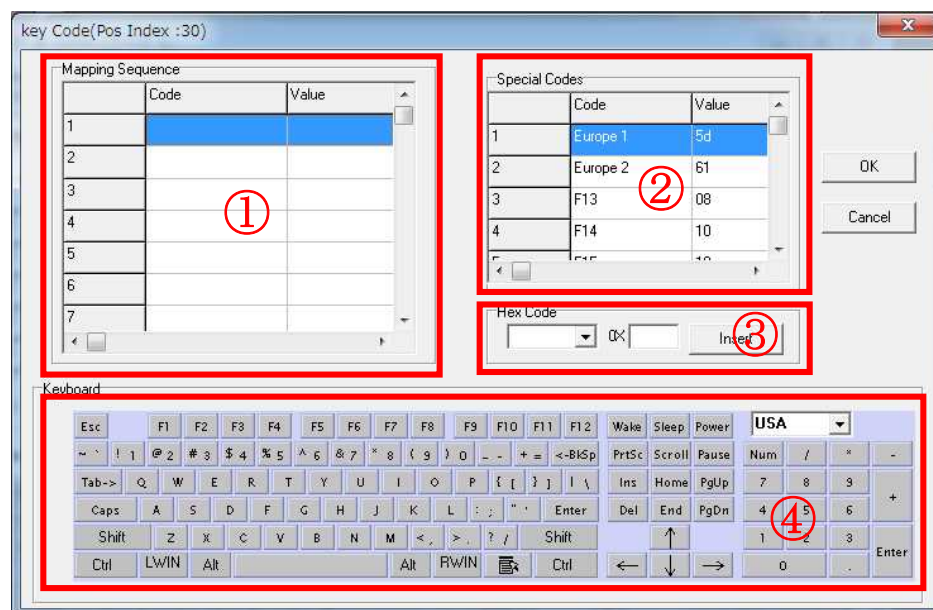
①メニューバーと②アイコンの詳細に関しては **V. 設定画面詳細** も参照下さい。

### Ⅲ-2. キーボード キー割当て設定

①割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されるので<Key Code>を選択します。



②Key Code 画面が表示されます。画面概要は以下のとおりです。

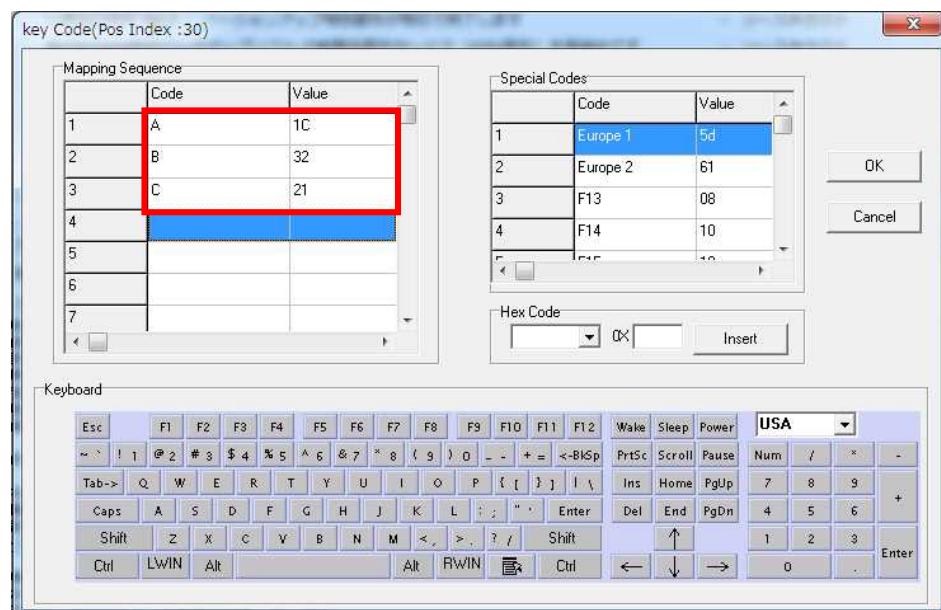


① Mapping Sequence	割当てしたキーコード値 (Value) が割当てた順に 1 から表示されます。最大 180 値まで登録できます。割当てするキー種類にもよりますが 1 キーあたり約 180 キー程のキー登録が可能です。
② Special Code	ソフトウェアキーボード上にないキーをこちらより登録できます。日本語配列キーボード特有のキー“¥”キーや“ろ”キーなどは Special Code から登録をします。(※1)
③ Hex Code	キーコードを 16 進数で直接入力して割当てキーとして登録できます。
④ Keyboard	英語 104 キー配列のソフトウェアキーボードです。割当てキーをクリックして登録します。日本語 109 キー配列はありませんので Special Code 欄より選択します。

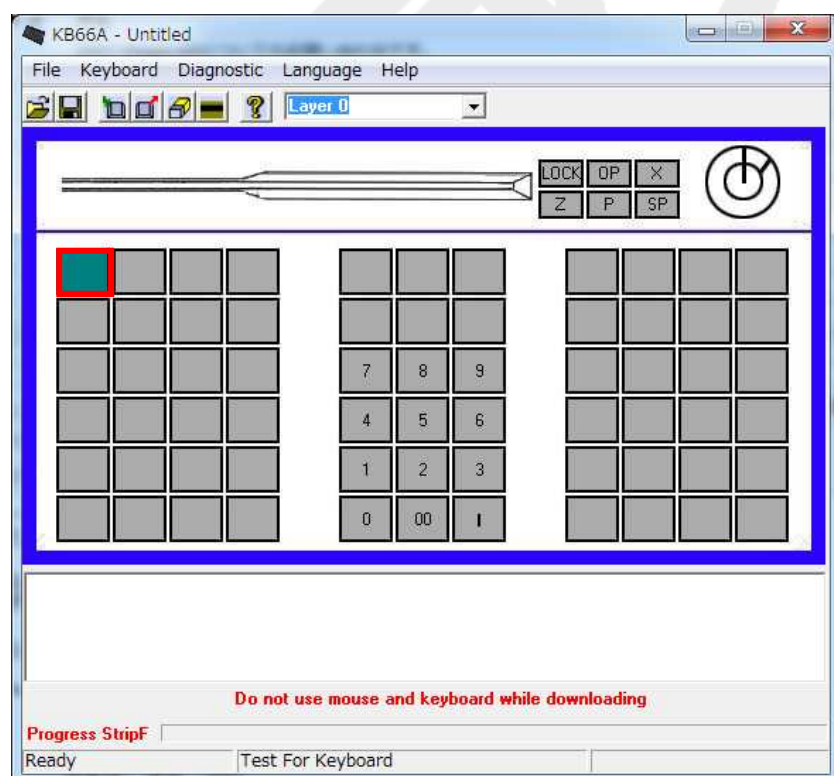
※1 “V-3. Key Code 画面”も参考下さい。

③例としてキーに ABC の 3 つのキーを割当てます。

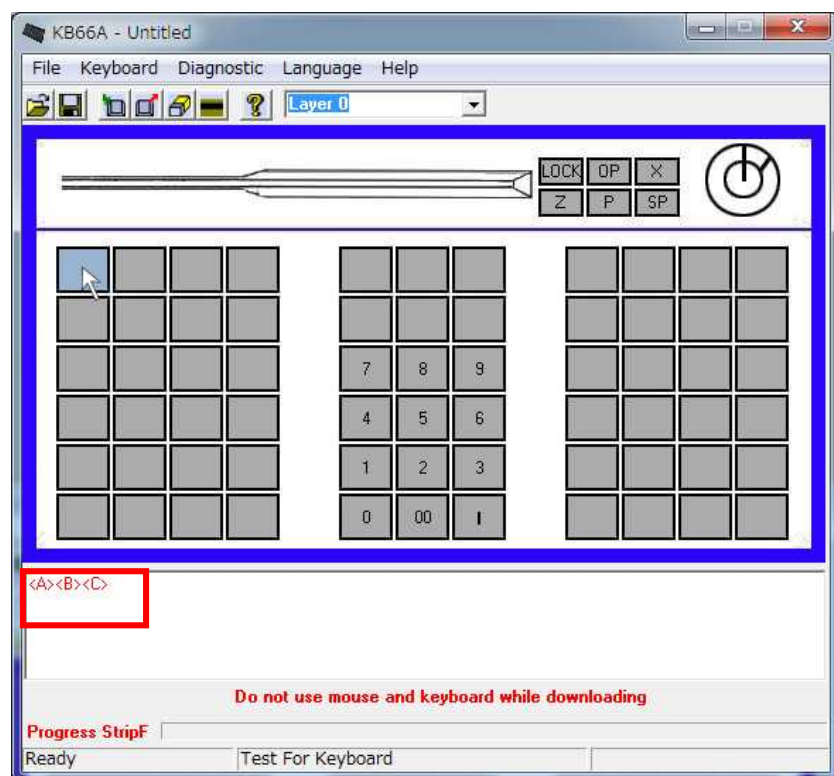
ソフトウェアキーボードの”A”, ”B”, ”C”の順にクリック選択すると、<Mapping Sequence>にクリック選択した順に key Code が表示されます。割当てを完了したら”OK”をクリックします。



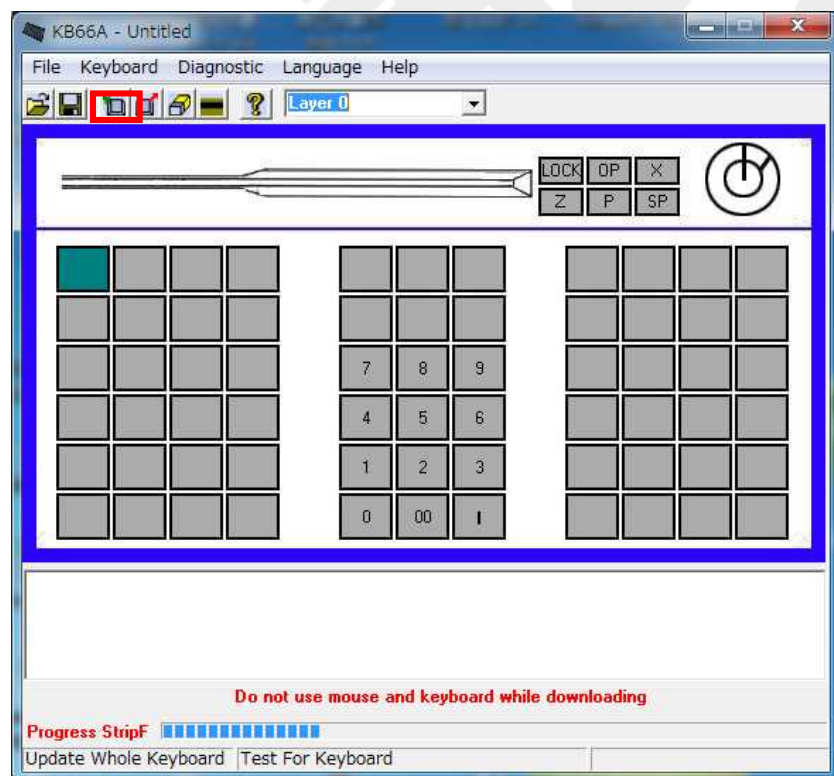
④キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。



⑤カーソルを上を持ってくると画面下側に割当てたキー”<A><B><C>”が赤文字で表示されます。



⑥キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン(🖨️)>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



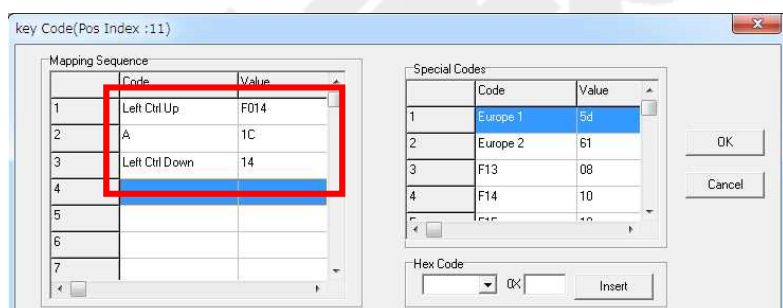
⑦書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示され、“OK”をクリックします。キーボードへの書き込みが完了されます。



⑧メモ帳等を開いて、設定したキーを1度押すと”ABC”が出てきます。設定したキーが割当てられているのが確認できます。



### 注意!



Shift、Alt、Ctrl キーは通常のキーボードと異なります。これらのキーはキー押下“Down”とキー放し“Up”の2つのステータス設定が必要となります。ソフトウェアキーボードでこれらのキーを1度クリックすると“Down”、もう1度クリックすると“Up”が値として表示されます。“Shift、Alt、Ctrl キーは Down ステータスのままにせず、必ず Up ステータスを設定して閉じて下さい。”

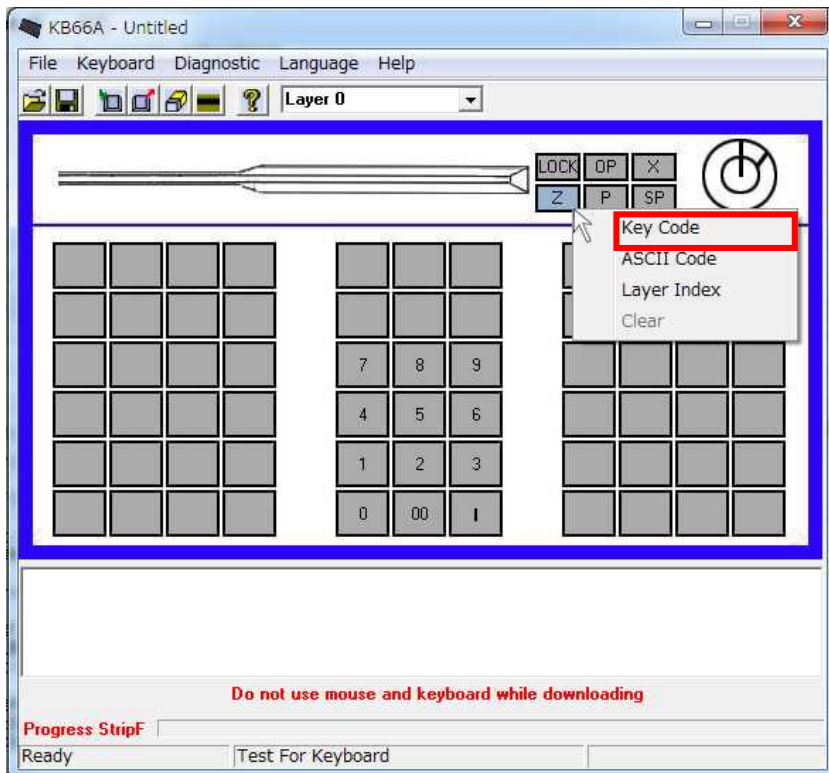
例えばウィンドウズショートカットキー 「すべて選択」 (Ctrl + A)を登録する場合以下の様になります。

左 Ctrl をクリック (Left Ctrl UP) -> A をクリック (A) -> 再度 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)

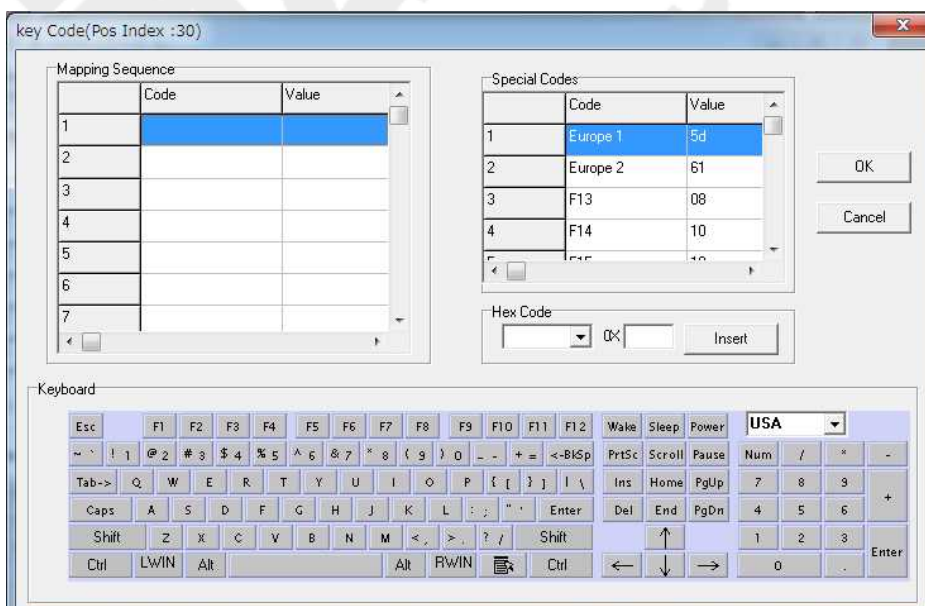
### Ⅲ-3. キーロック キー割当て設定

キーロックは付属の鍵を回して止めた位置で設定した Key Code を出力します。キーボードのキー割当て設定と同じですが、設定されたキーは鍵が回された位置にキーが押された状態となり、他の位置にキーが移動するまで押された状態を保持しています。主にアプリケーションの設定切替のトリガーやレイヤーキーとして使用されます。

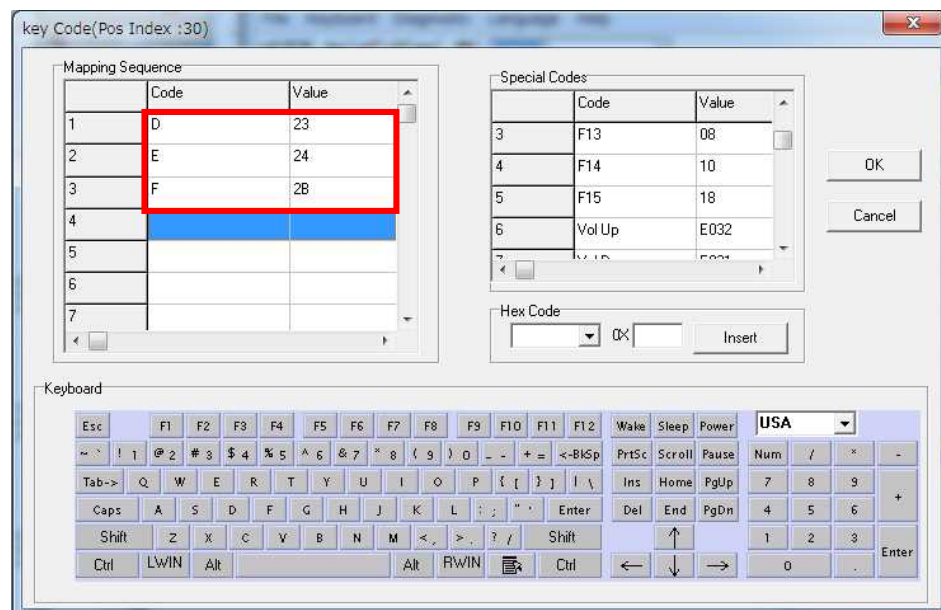
① 割当て設定をしたいキー位置表示の上にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されるので"Key Code"を選択します。



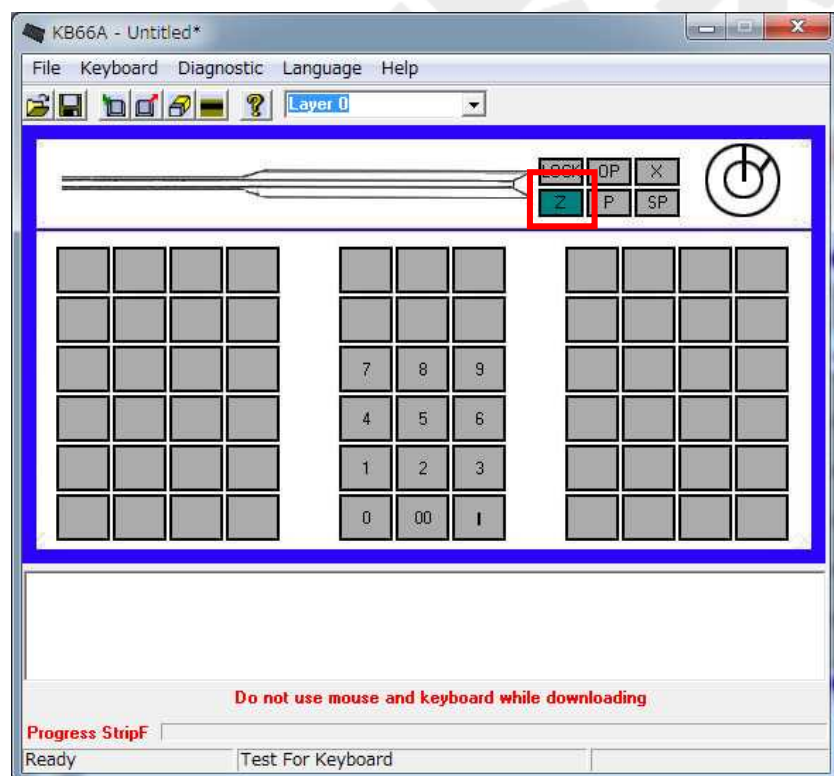
② キーボード キー割当て設定同様に Key Code 画面が表示されます。



③例として鍵位置(Z)にした時に DEF の3つのキーが出力される様に割当てます。ソフトウェアキーボードの”D”, ”E”, ”F”の順にクリック選択すると、<Mapping Sequence>にクリック選択した順に key Code が表示されます。"OK"をクリックします。

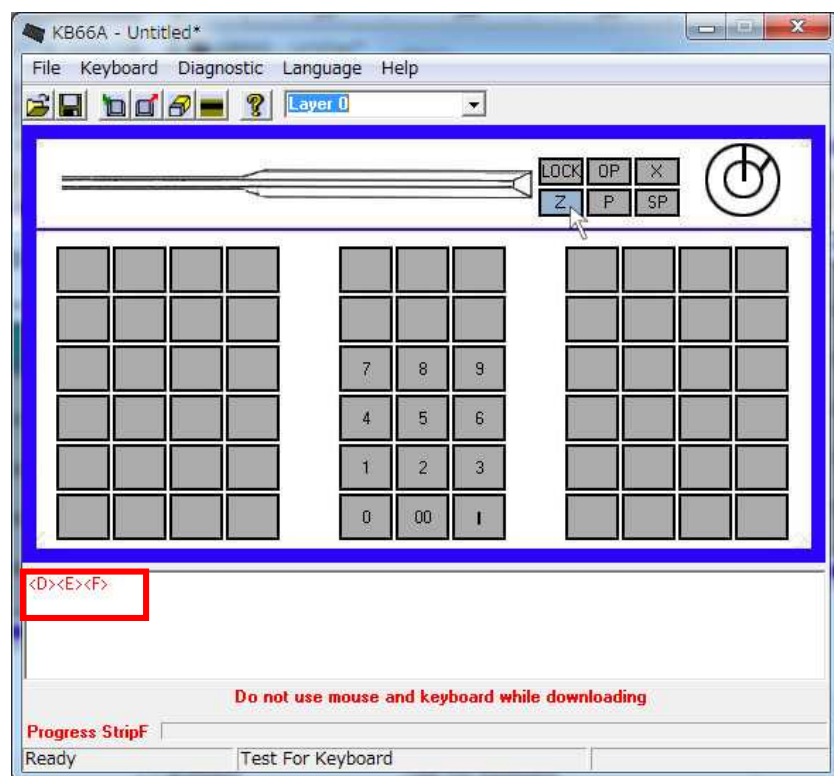


④キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。

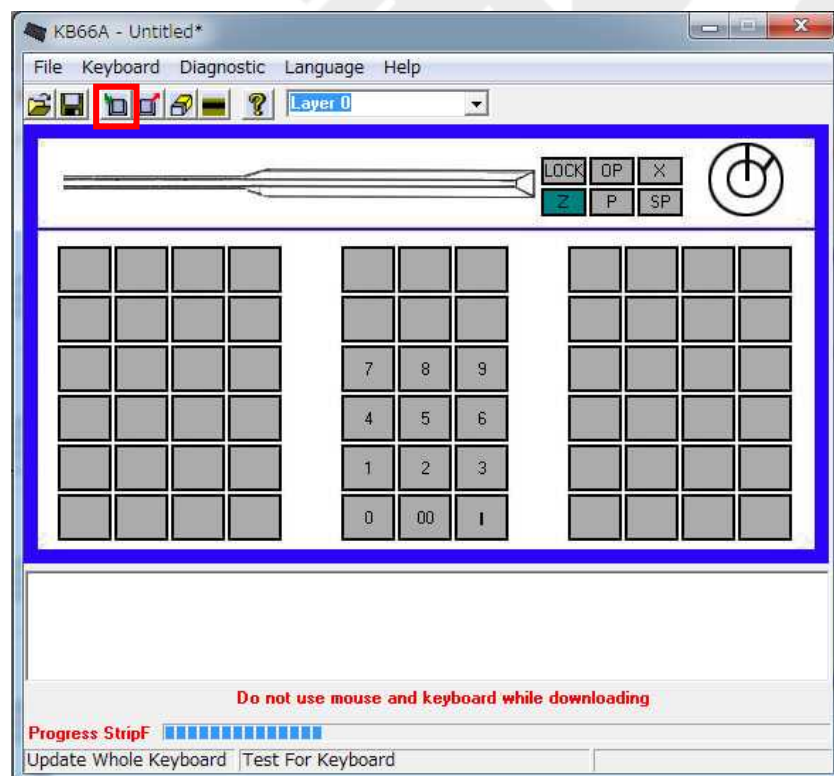




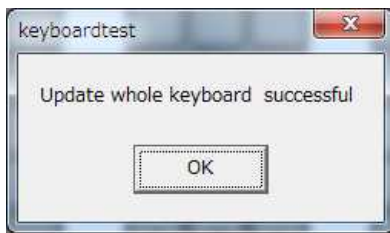
⑤カーソルを上を持ってくると画面下側に割当てたキー”<D><E><F>”が赤文字で表示されます。



⑥キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン(🖨️)>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



⑦書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。

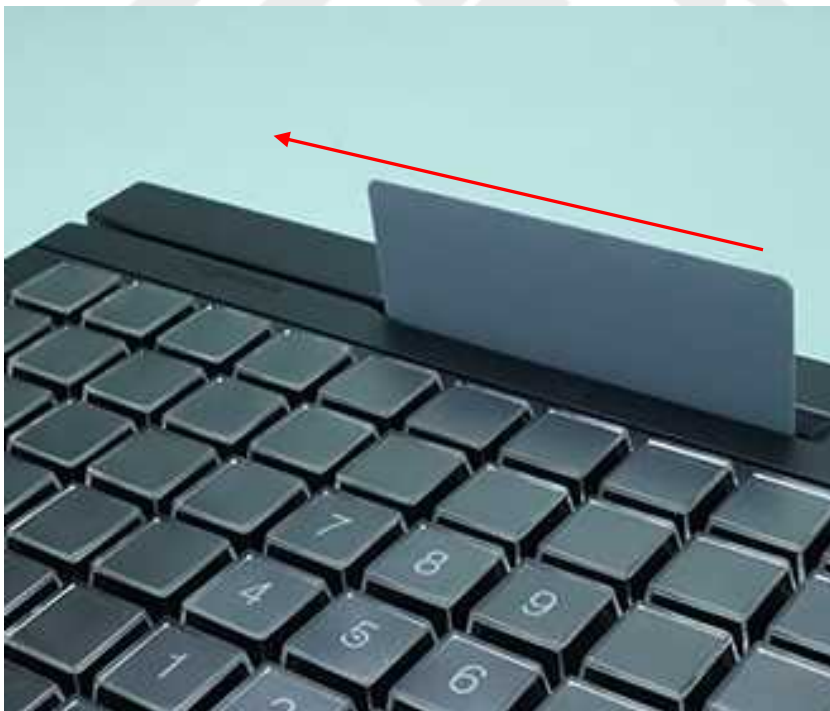


⑧メモ帳等を開いて、キーロックの鍵位置を(Z)にすると"DEF"が入力されます。設定したキーが割当てられているのが確認できます。

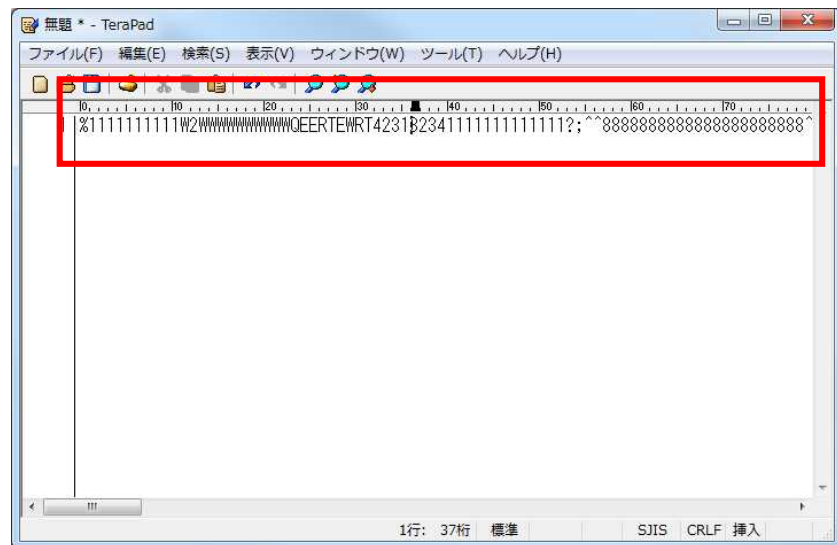


### Ⅲ-4. 磁気カードリーダーデータの読み取り

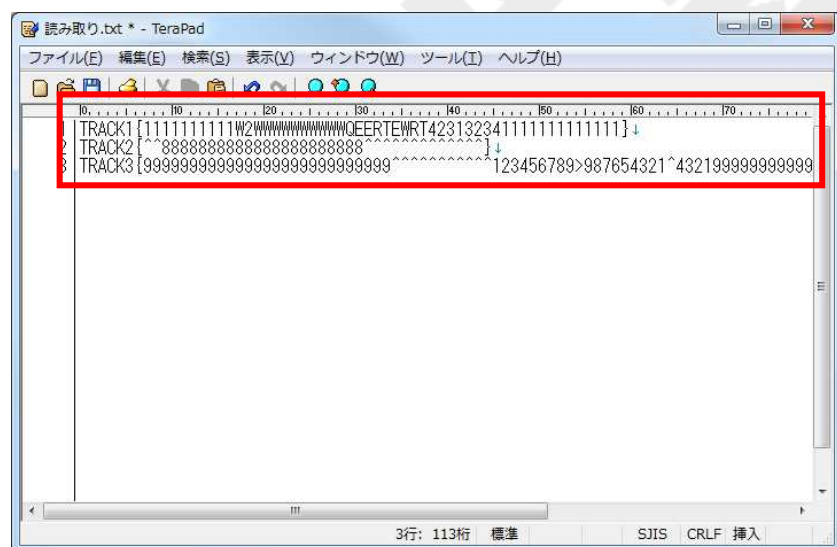
①磁気カードを差し込み、磁気カードを赤矢印の方向にスライドさせます。



② メモ帳等を開いて、読み取ったカードの情報を確認することができます。読み取り表示設定を行わないと、磁気カードの情報が1行に表示されます。読み取り表示設定を行うことによって、磁気カード情報の読みやすさが容易に行われます。




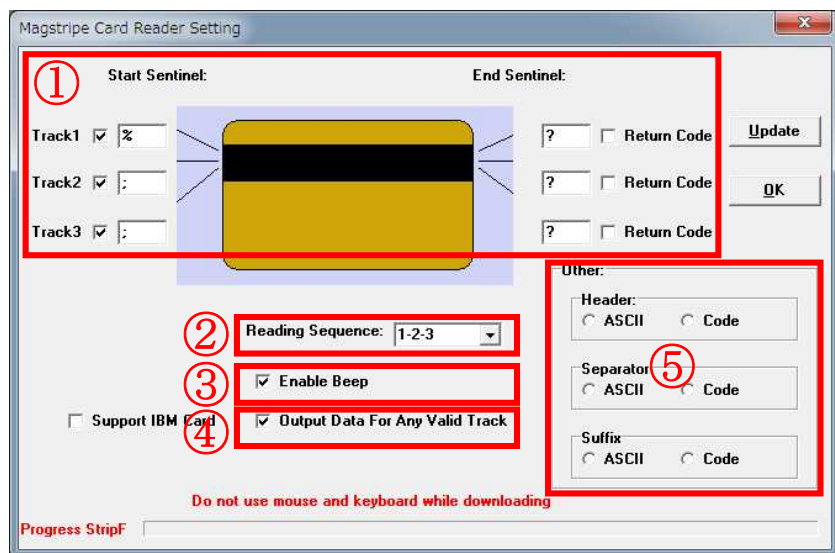
③ 例として、磁気カード情報を読み取り表示設定を行い情報整理した表示内容です。トラック毎に改行したり、情報の前後にコードを入力することができます。



### Ⅲ-5. 磁気カードリーダー読み取り表示設定

磁気カードは ISO(JIS-I)トラック 1&2&3/JIS-II に対応しています。読み取り表示設定画面より ISO(JIS-I)トラック 1&2&3 の読み取った際の表示設定が行えます。

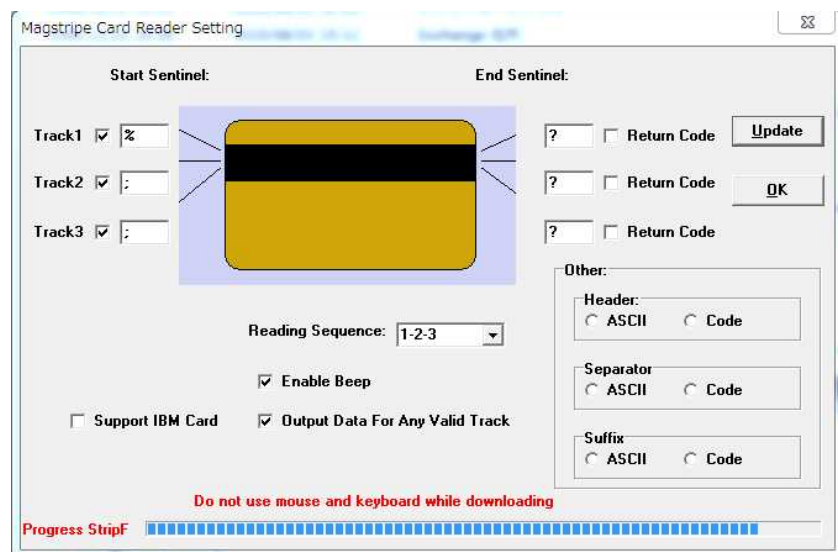
①読み取り表示設定画面の磁気カードリーダー<Set Magstripe Card Reader アイコン (  )> をクリックします。磁気カードリーダー読み取り表示設定画面が表示されます。読み出す Track のチェックや<Start Sentinel>、<End Sentinel>の設定をして下さい。



Start sentinel,End Sentinel	読み取った出力データの Start Sentinel、End Sentinel、Return Code 改行の指定を行いません。
Reading Sequence	Track1,2,3 読み取りデータの出力順を選択します。
Enable Beep	データ読み取りの際のビープ音の有無を選択します。
Output Data For Any Valid Track	データとして有効な Track データのみを出力し、無効な Track データは出力しないかの選択です。有効な Track データのみを出力する場合はチェックします。
Other	出力するデータに付加する Header, Separator, Suffix を ASCII Code または Key Code で指定できます。

※Support IBM Card は使用しません。

③ 設定後キーボードへ書き込みを行ないます。Update をクリックして下さい。※OK をクリックして、設定画面より<Update Whole keyboard アイコン(🖱️)>をクリックして書き込むこともできます。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



④ 書き込みを終えると<Update successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。



## IV. その他の設定機能

### IV-1. ASCII Code

割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると ASCII Code メニューが表示されます。ASCII コードで出力する文字をキーに割当てることができます。約 180 文字の ASCII コード文字を 1 キーに割当てることができます。（※日本語は不可。）設定を完了し、キーを押すと登録した文字列が出力されます。



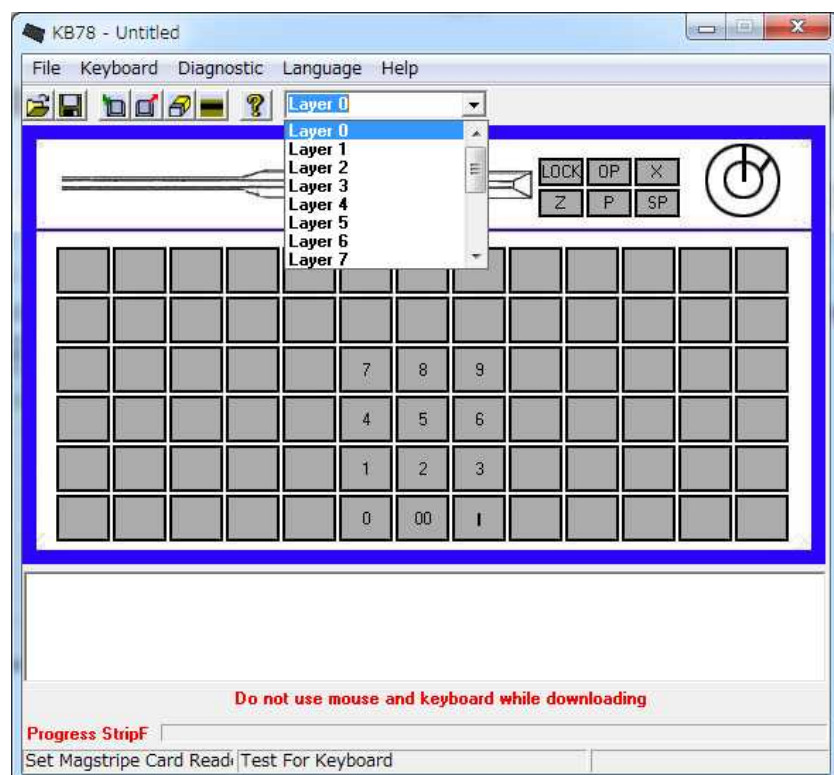
下記の 4 種の記号も以下の表記により割当てることができます。

Symbol (記号)	Representation (表記)
Enter	\ n または \ N
Esc	\ e または \ E
Tab	\ t または \ T
\	\\

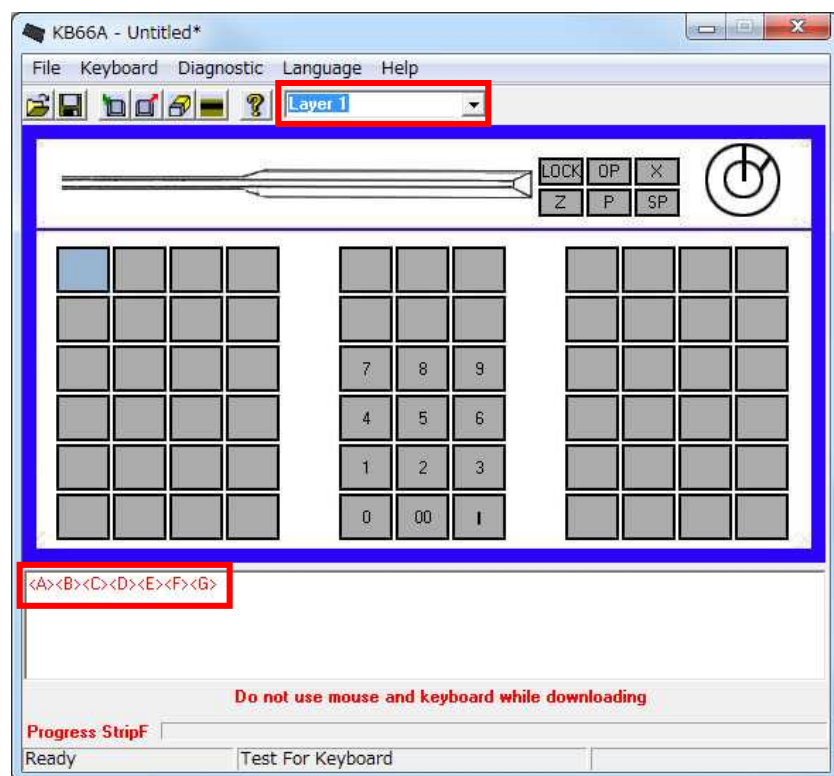
## IV -2. Layer Index

キーボードはレイヤー（層）を設けて、同じキーへレイヤー毎に異なる出力コードの割当てが設定できます。レイヤーは 0-15 までの合計 16 レイヤーあります。（※Soft Layer は使用しません。）

割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると<Layer Index メニュー>が表示されます。[Layer Code]画面の<Select one of the layers>よりレイヤーを選択し、レイヤー切替を行なうキー割当てを行ないます。標準のレイヤーは<Layer0>です。Layer Index キーはキーを押している間のみレイヤーが切り替わります。キーボードのキーに Layer Index キーを割当ててる他に、キーロック（LOCK,OP,X,Z,P）へ Layer Index キーを割当ててることで、鍵位置でレイヤーを切替えることができます。

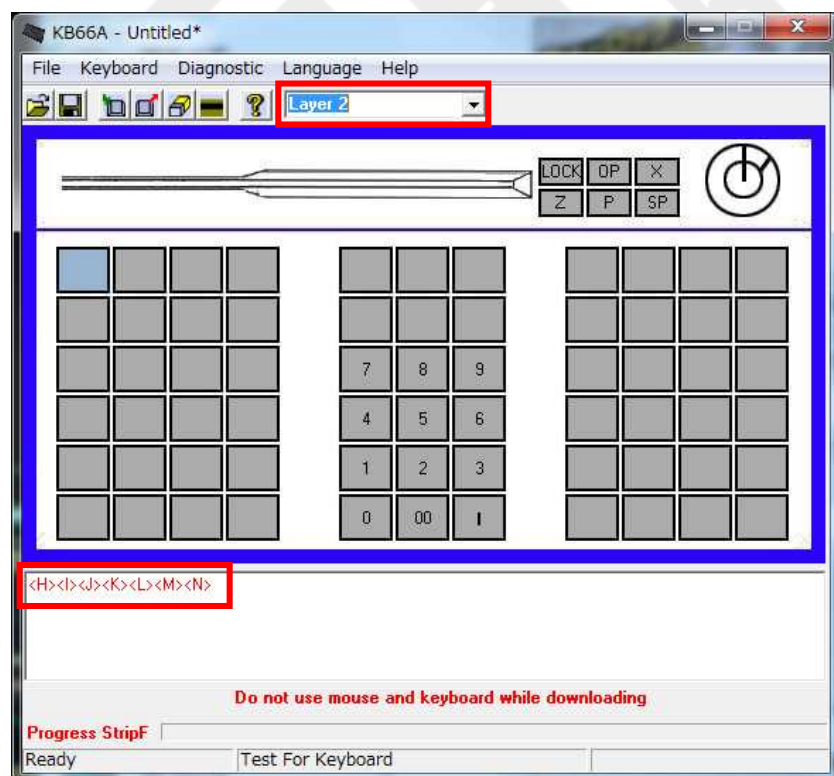


①例として、キーロックにレイヤーを割当てます。まず、<Layer 1>のキーに Key Code キー”A”, ”B”, ”C”, ”E”, ”F”, ”G”を割当てます。



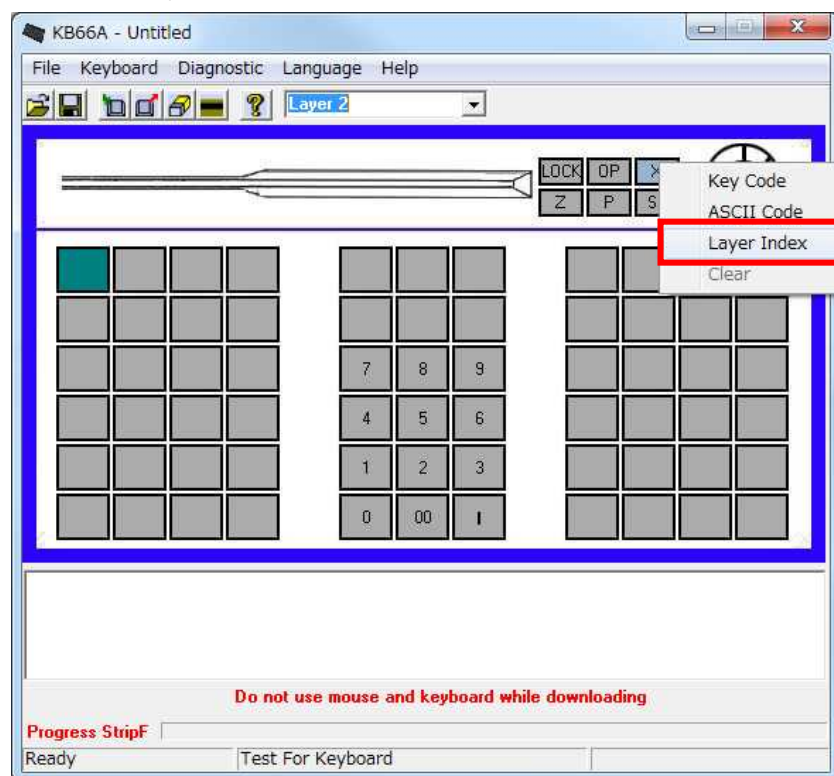
②<Layer 2>に<Layer 1>に設定した同じキー位置に Key Code キー”H”, ”I”, ”J”, ”K”, ”L”, ”M”を割当てます。

<Layer 1>に<A>, <B>, <C>, <E>, <F>, <G>が割当てられ、<Layer 2>に”<H>, <I>, <J>, <K>, <L>, <M>”が割当てられたことが分かります。

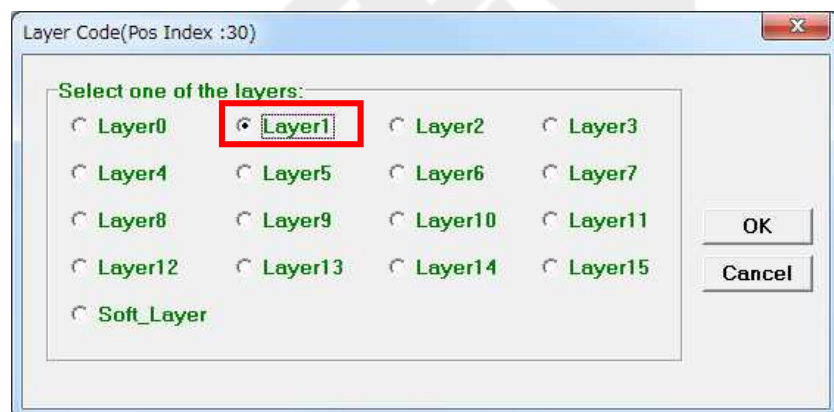




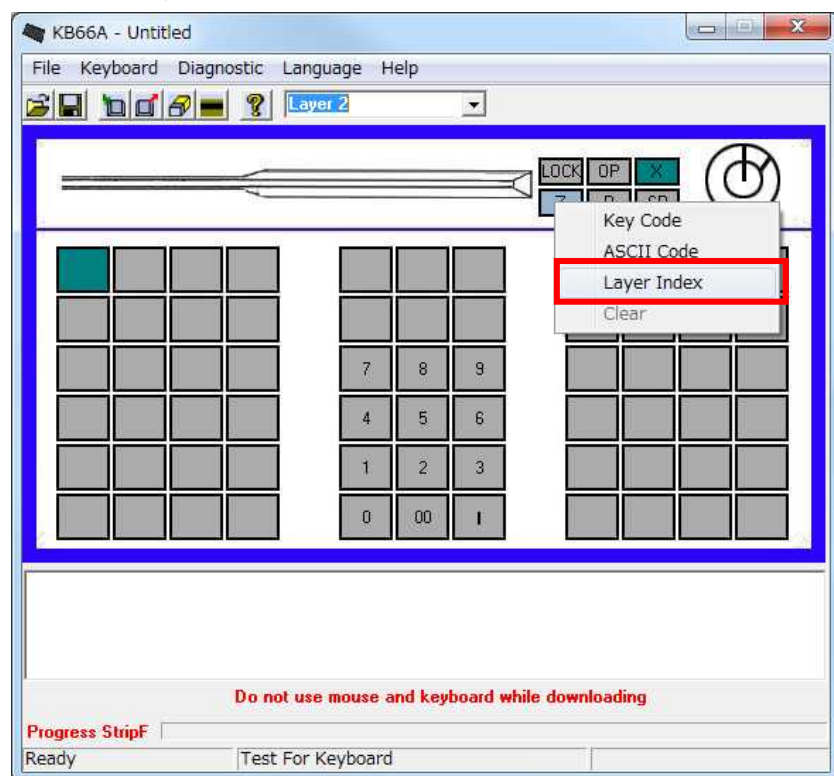
③ X キー位置表示の上にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されるので<Layer Index>を選択します。



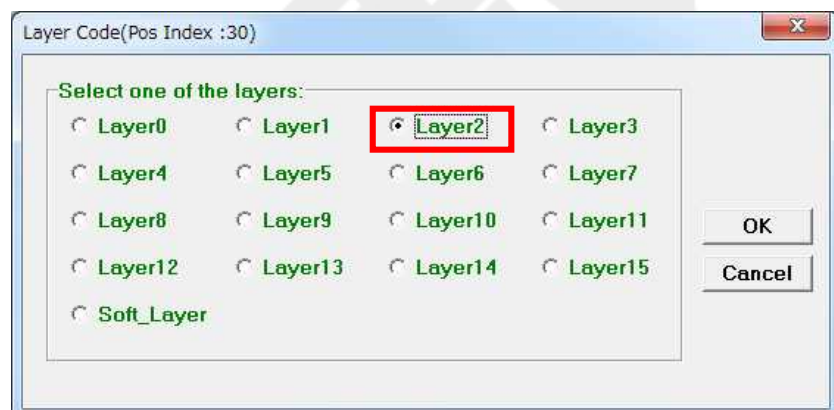
④ [Layer Code]画面が表示され、<Layer1>を選択し、"OK"をクリックします。



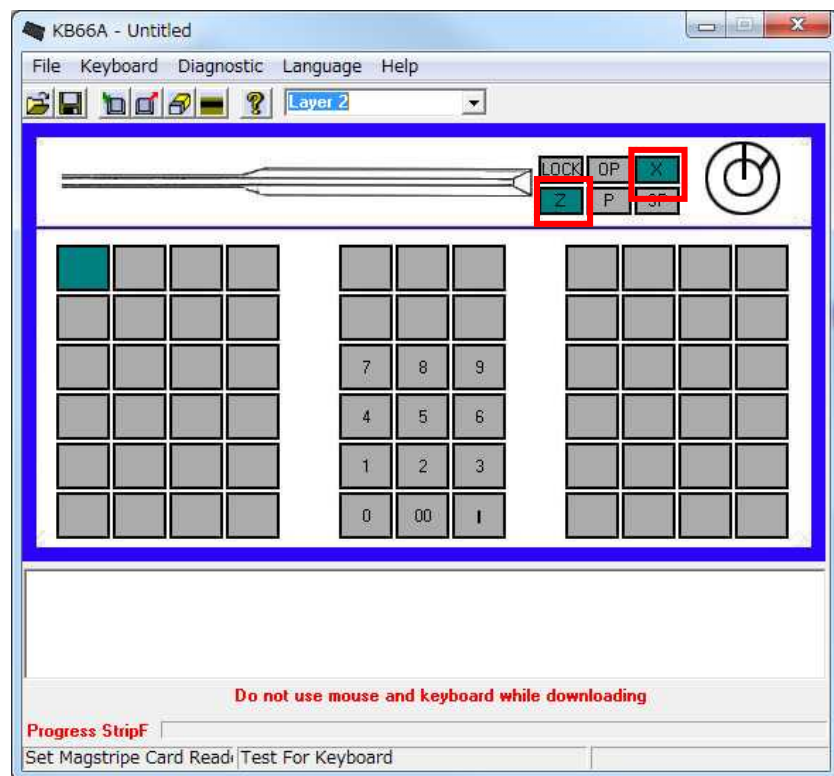
⑤ Z キー位置表示の上にカーソルを持ってきて、左クリックをするとメニューが表示されるので "Layer Index" を選択します。



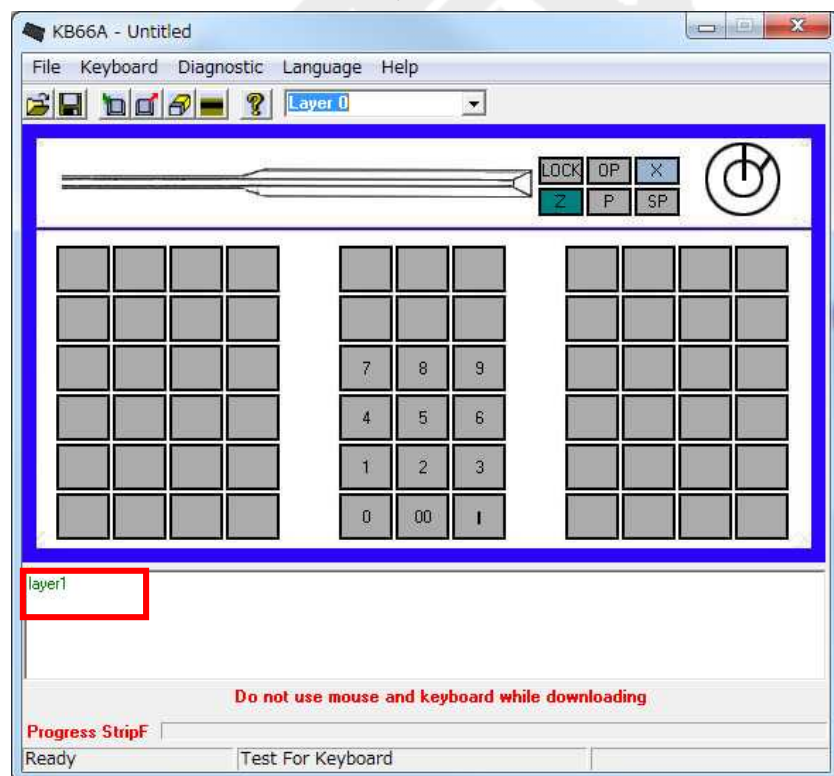
⑥ Layer Code 画面が表示され、"Layer2" を選択し、"OK" をクリックします。




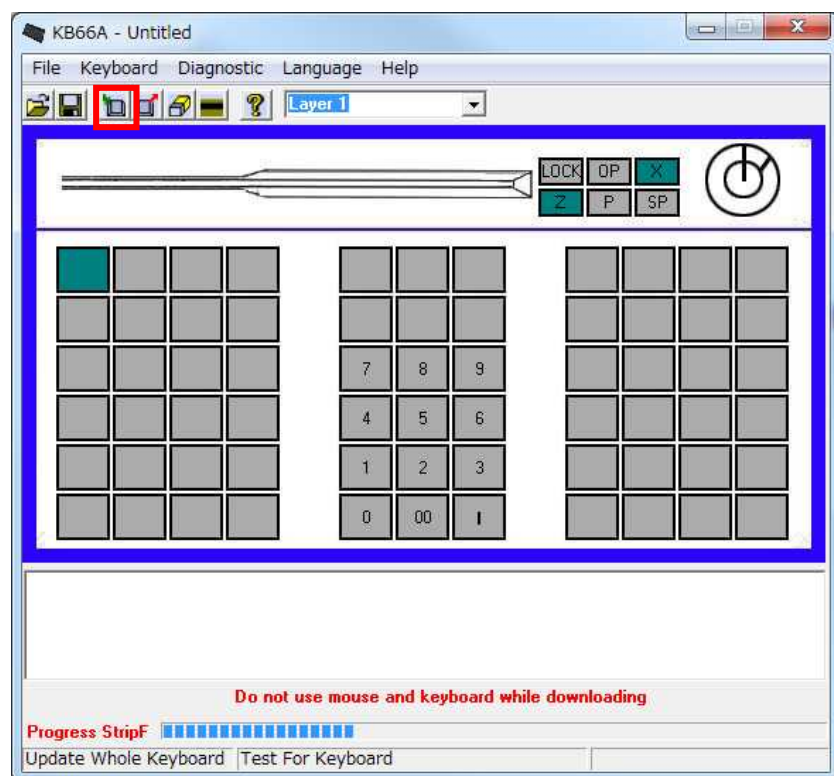
⑦ キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。



⑧ カーソルを上を持ってくると画面下側に割当てた X キーに <layer1> が緑文字で表示されます。また、Z キーに <layer2> 緑文字で表示されます。



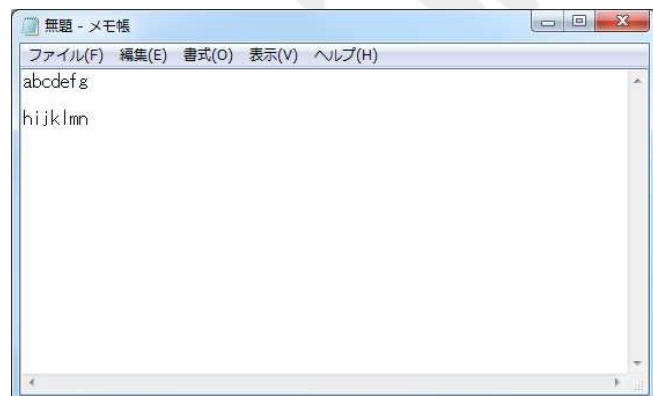
⑨ キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン(  )>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



⑩ 書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。



⑪ メモ帳等を開いて、キーロックの鍵位置を(X)にし、設定したキーを押下すると”abcdefg”が入力されます。また、鍵位置を(Z)にし、設定したキーを押下すると”hijklmn”が入力されます。設定したレイヤーキーが割当てられているのが確認できます。



### IV-3. Keyboard Setting

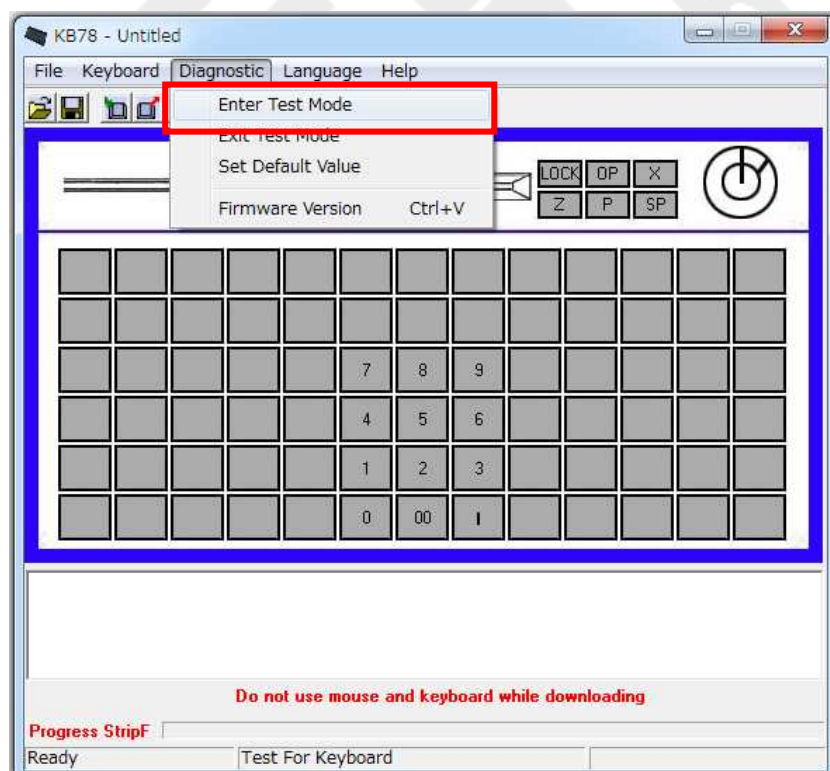
{Keyboard -> Keyboard Setting}を選択すると[Keyboard Setting]画面が表示されます。キーボードのビープ音の有無の設定が行えます。選択をして"Update"ボタンにより変更が反映されます。



Press With Sound	全キーに対してキー押下された場合、ビープ音”ピッ”が鳴ります。
Press Without Sound	全キーに対してキー押下された場合、ビープ音”ピッ”はありません。
Only Programmed Key Beep Enable	キー割当てを行なったキーのみキー押下された場合、ビープ音”ピッ”が鳴ります。

### IV-4. Enter Test Mode

{Diagnostic -> Enter Test Mode}を選択し、表示されるダイアログボックス"OK"を押すとキーボードはテストモードとなります。



テストモードはキーを押してコードが出力されるか診断をするテストです。テストモード後にキーを押すと各キーに予め割当てられた16進数のキーコードがビープ音”ピッ”と共に出力されます。テストモードは {Diagnostic -> Exit Test Mode} より終了できます。



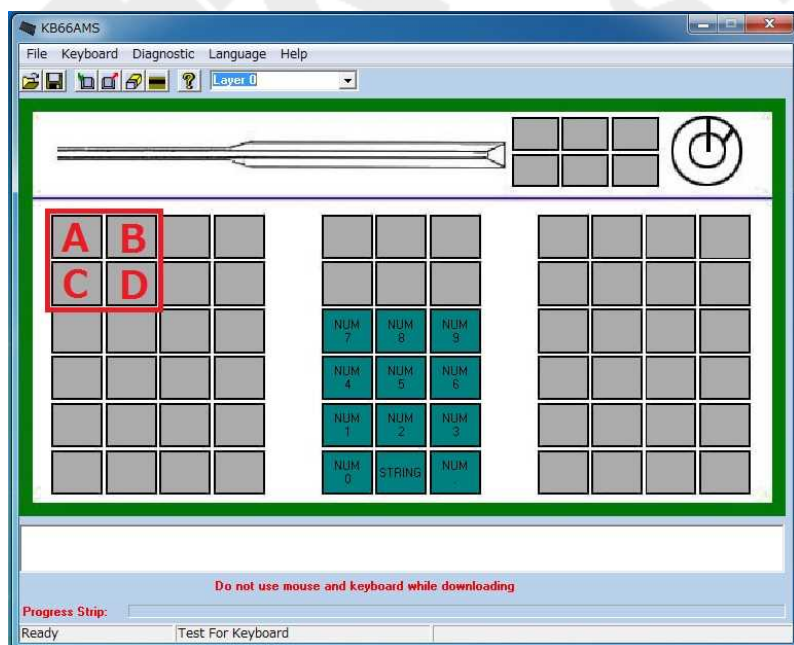
## IV-5. Multiple key

Multiple key は4倍キーを使用する上で必要な設定です。この Multiple Key 設定は、KBJ シリーズと MKBJ シリーズで設定方法が異なるため、ここではそれぞれの設定方法を記載します。

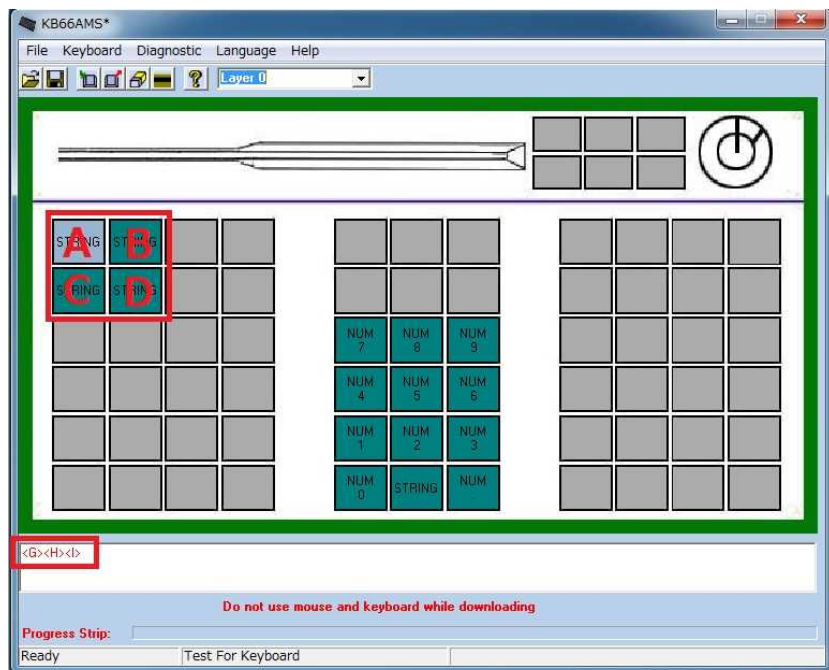
### IV-5-1. Multiple key の設定 (KBJ シリーズの場合)

4倍キー割当て設定をしたいキーそれぞれに、設定したい同じキーを設定します。

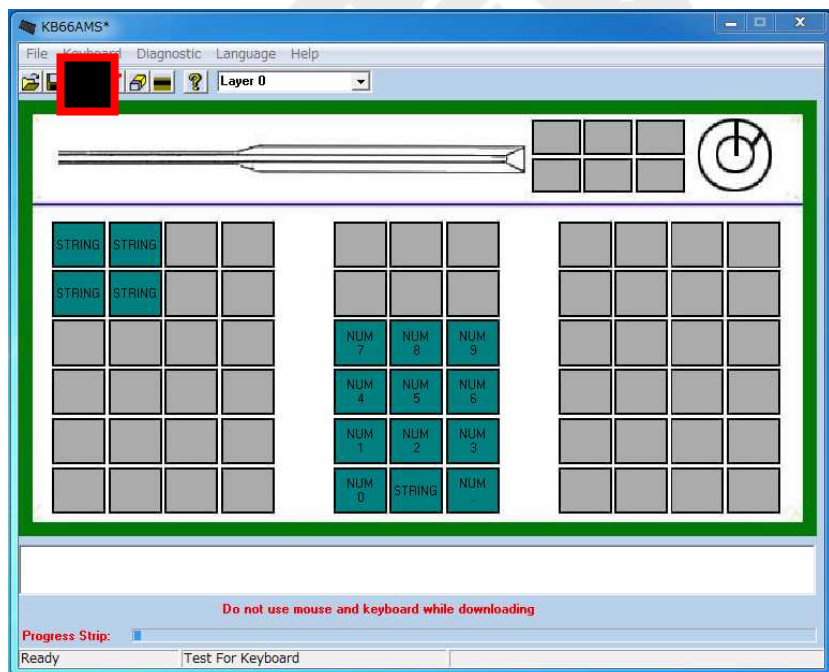
①例として赤枠の4キーが押された時、GHIの3つのキーが出力される様に割当てます。まず、**A キー**"に GHI"を割当て設定します。これと同様の設定を、**B キー**、**C キー**、**D キー**にも割り当てます。



②キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。カーソルを上を持ってくると **A キー**、**B キー**、**C キー**、**D キー**それぞれが、画面下側に割当てたキー” <G><H><I>” が赤文字で表示されます。



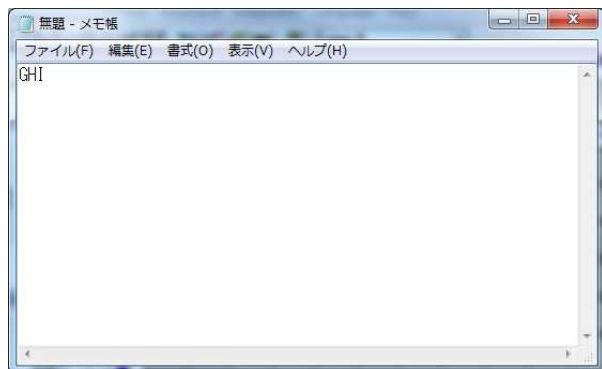
③キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン(  )>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



④ 書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。



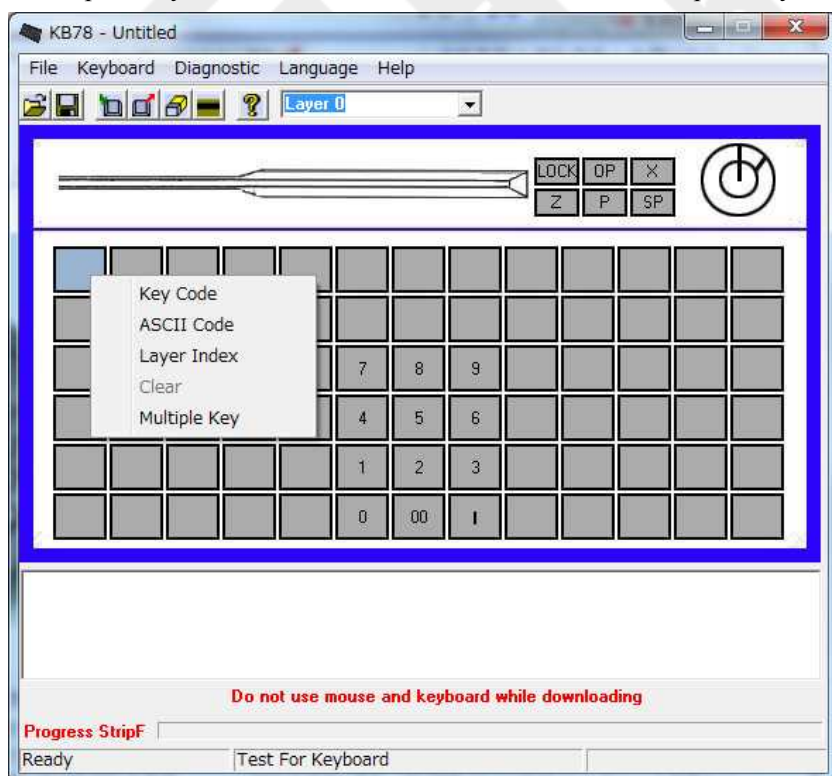
⑤ メモ帳等を開いて、4倍キー設定したキーを押すと”GHI”が出力されます。



#### IV-5-2. Multiple key の設定（MKBJシリーズの場合）

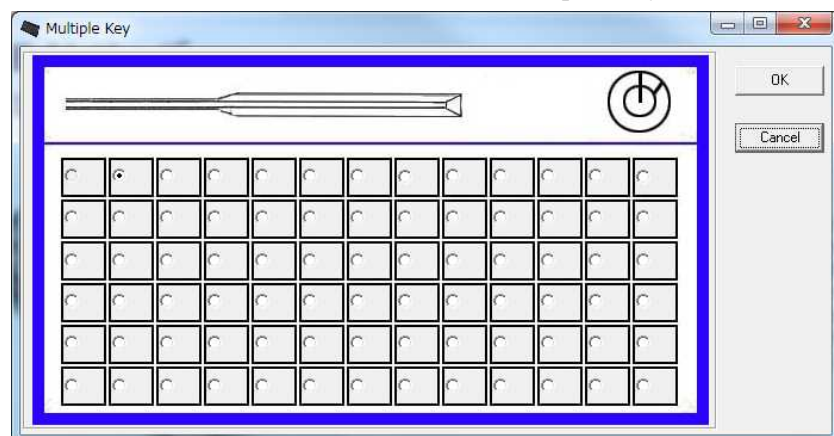
Multiple key は 4倍キーを使用する上で必要な設定です。

① 4倍キー割当て設定をしたいキーの上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると Multiple key メニューが表示されるので"Multiple key"を選択します。

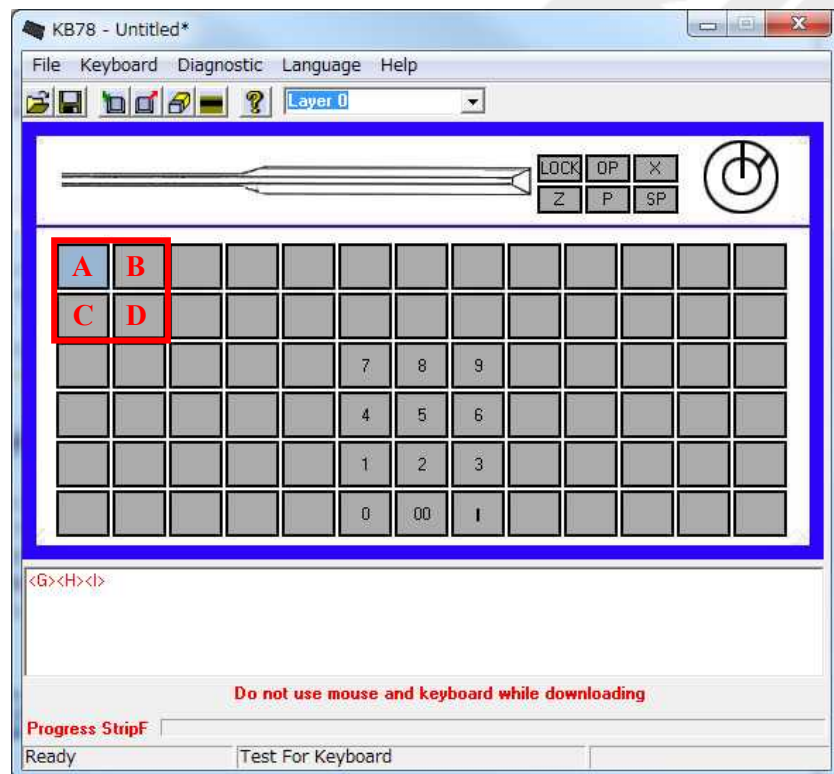




② 4 倍キー割当て設定ができる Multiple key 画面が表示されます。

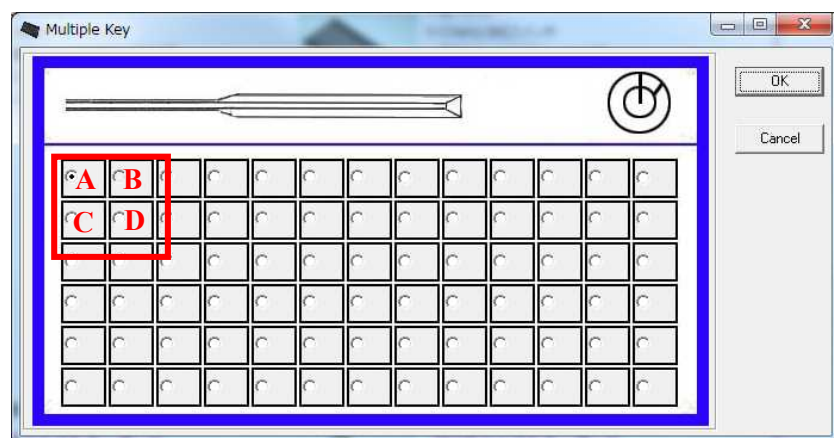


③ 例として赤枠の 4 キーが押された時、GHI の 3 つのキーが出力される様に割当てます。まず、**A キー**に "GHI" を割当て設定をします。次に、**B キー**、**C キー**、**D キー**と **A キー**を紐付けさせます。( **A キー**を "GHI" を割当てたキー、**B キー**を A に紐付けさせるキー、**C キー**を A に紐付けさせるキー、**D キー**を A に紐付けさせるキーとして設定します。)

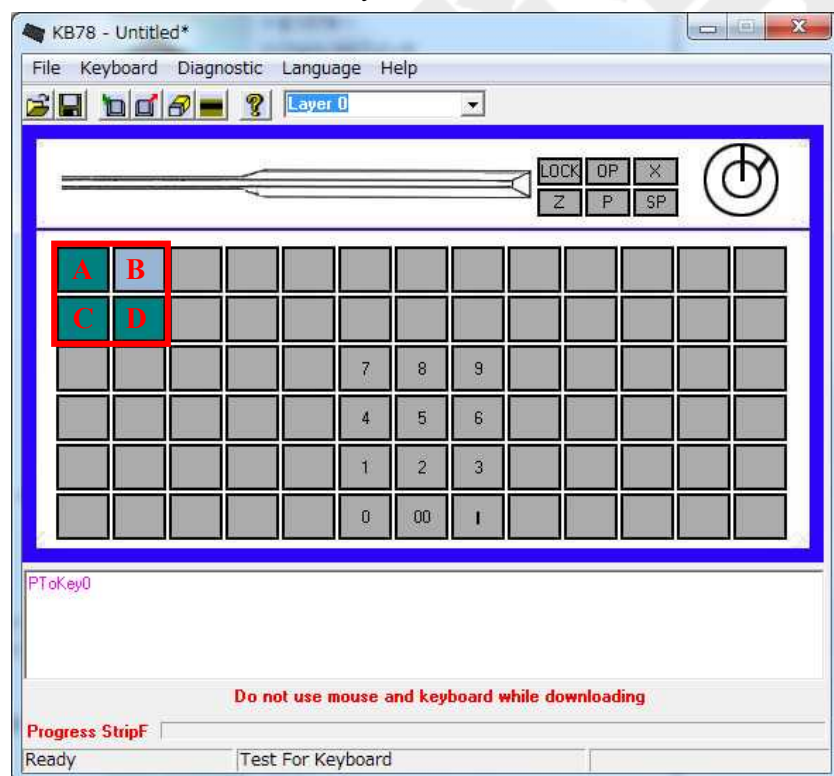



④ **B キー**、**C キー**、**D キー**の上にカーソルを持ってきて、左クリックをすると Multiple key メニューが表示されるので "Multiple key" を選択し、4 倍キー割当て設定ができる Multiple key 画面を表示させます。

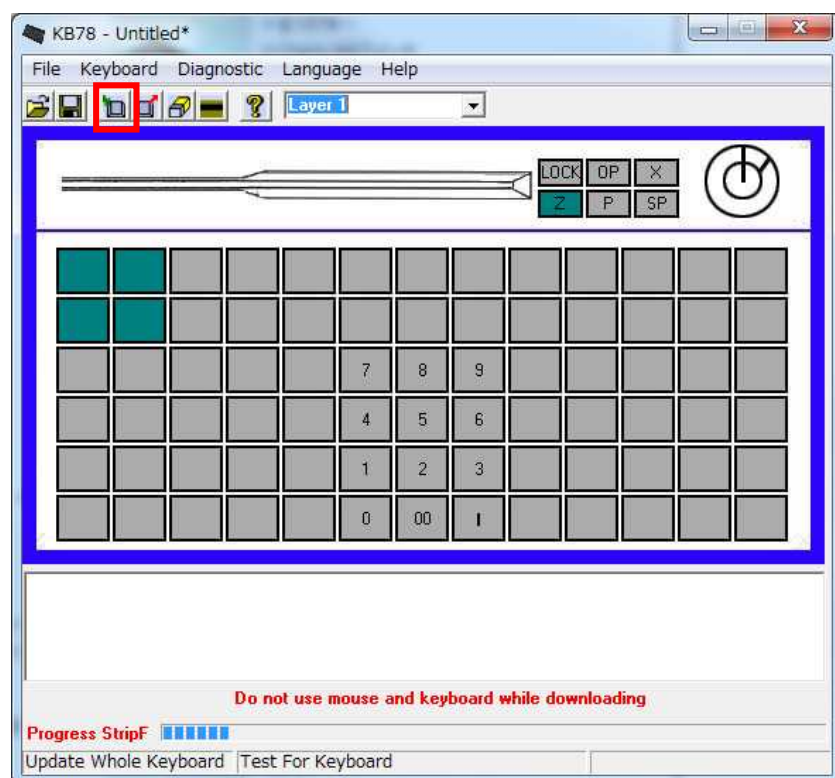
**A キー**にチェックをし、"OK" をクリックします。 **B キー**、**C キー**、**D キー** 同じ設定をします。



⑤ キー割当てを行なったキーの色が深緑色になります。カーソルを上を持ってくると **A キー**に画面下側に割当てたキー " <G><H><I>" が赤文字で表示されます。 **B キー**、**C キー**、**D キー**に画面下側に <PToKey0>がピンク色の文字で表示されます。



⑥ キーボードの設定を書き込みます。<Update Whole keyboard アイコン(  )>をクリックして下さい。キーボード書き込み進行状況が表示されます。



⑦ 書き込みを終えると<Update Whole keyboard successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キーボードへ書き込みがされました。



⑧ メモ帳等を開いて、4倍キー設定したキーを押すと”GHI”が出力されます。設定したキーが割当てられているのが確認できます。



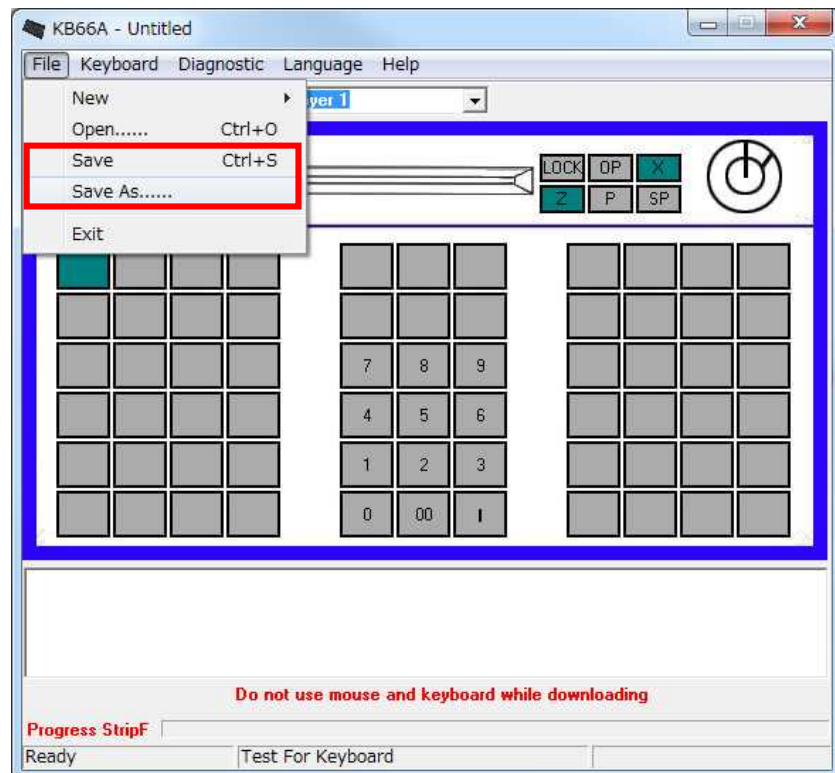
**V. 設定画面詳細****V-1. 設定画面メニューバー**

設定画面内のメニューバーの説明と対応するアイコンです。

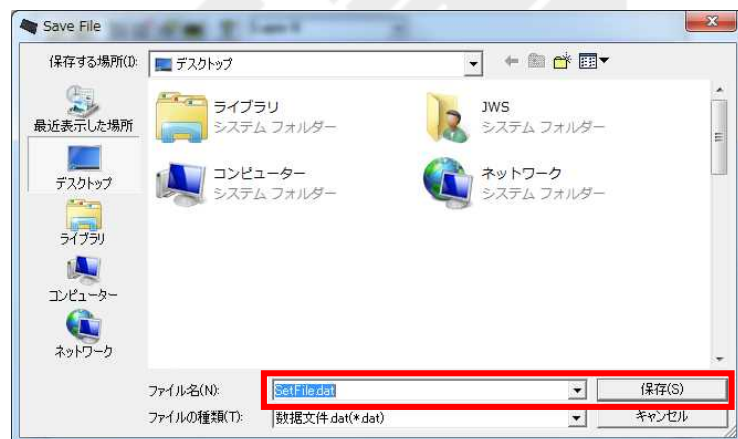
第一レベル	第二レベル	第三レベル	説明	アイコン
File	New	Key Map	新規作成	
	Open		ファイルを開く	
	Save		上書き保存	
	Save As		名前を付けて保存	
	Exit		終了	
Keyboard	Update Whole Keyboard		キーボード全設定を書き込み	
	Update Key Mappings		キーマッピングを書き込み	
	Retrieve Keyboard		キーマッピングの読み出し	
	Clear Current Layer		表示レイヤー設定クリア	
	Clear All		全て設定クリア	
	Keyboard Setting		キーボード設定	
	Magstrip Card Reader Setting		磁気カードリーダーの設定	
Diagnostic	Enter Test Mode		テストモード開始	
	Exit Test Mode		テストモード終了	
	Set Default Value		出荷時設定に戻す	
	Firmware version		バージョンの確認	
Language	English		英語表記	
	Simplified Chinese		中文表記	
Help	About Matrix Maker		マトリクスメーカーについて	

## V-2. キー割当て設定ファイルの保存、読み込み

① キー割当て設定ファイルの保存は、メニューバーの {File -> Save} または {File -> Save As} で設定の保存ができます。



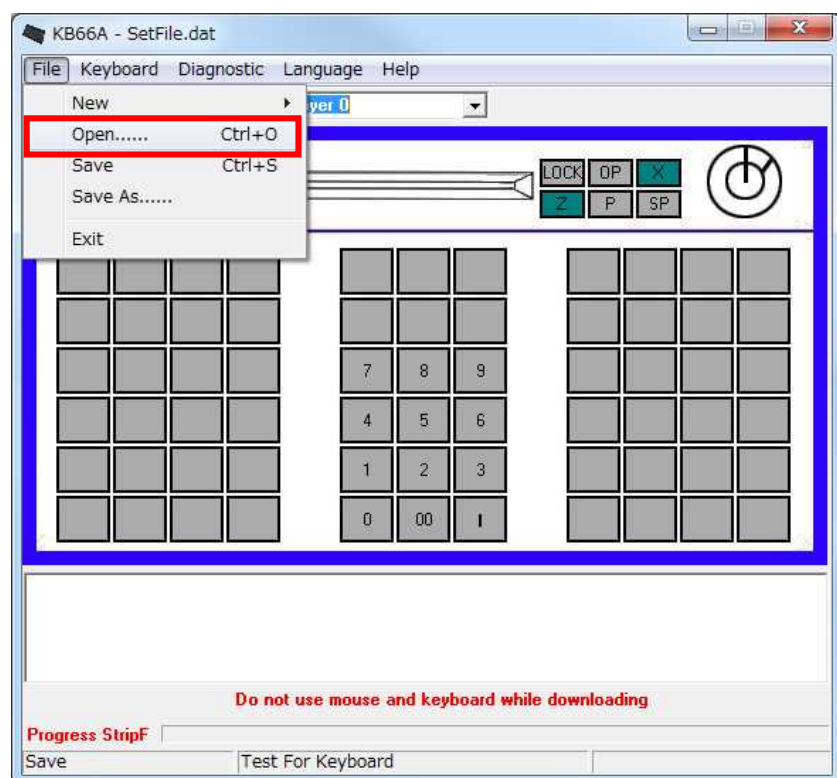
② ファイル名を任意の名前で入力し、"保存"をクリックします。ファイルを dat 形式で保存されます。



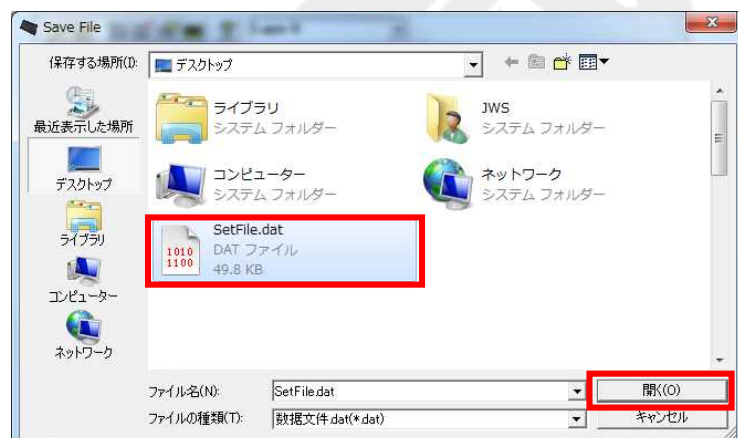
③ 保存を終えると <File saved successful> が表示されます。"OK"をクリックします。キー割当て設定ファイルのへ保存がされました。



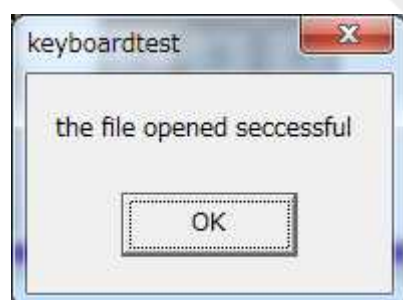
④ キー割当て設定ファイルの読み込みは、メニューバーの {File -> Open} で設定ファイルの読み込みができます。



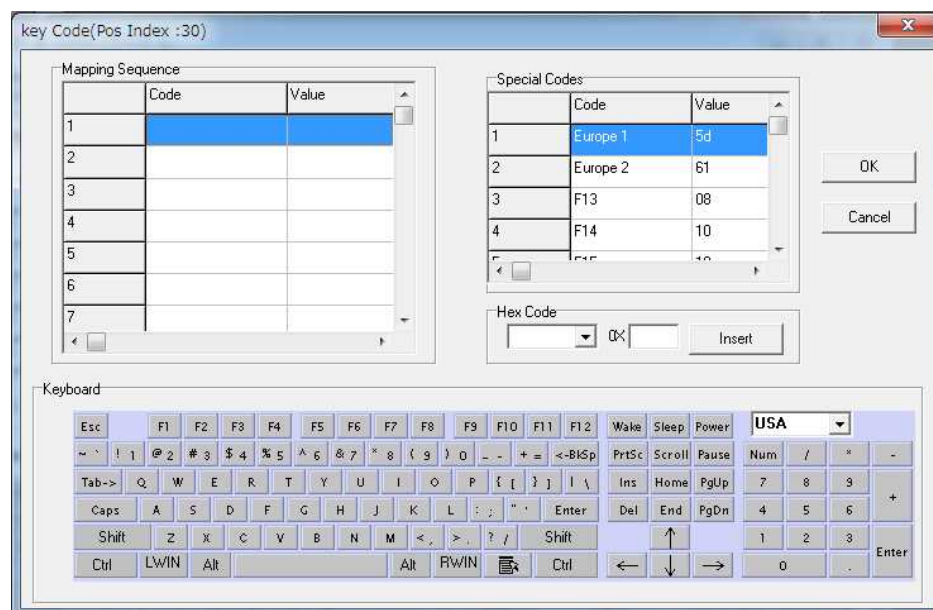
⑤ 対応したファイル選択し、開くをクリックします。ファイルは dat 形式を読み込みます。



⑥ 読み込みを終えると <the file opened successful>が表示されます。"OK"をクリックします。キー割当て設定ファイルの読み込みがされました。



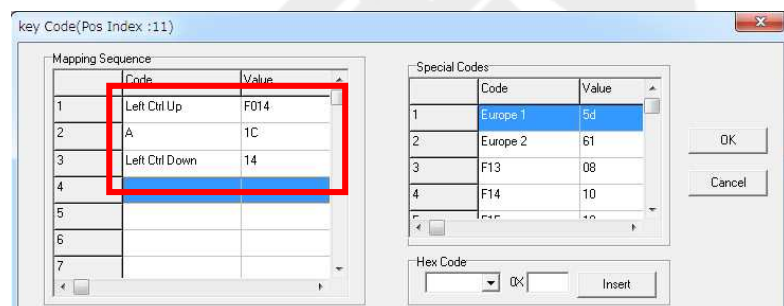
## V-3. Key Code 画面



### ① Mapping Sequence

割当てしたキーコード値(Value)が割当てた順に1から表示されます。最大180値まで登録できます。割当てするキー種類にもよりますが1キーあたり約180キー程のキー登録が可能です。

**注意!**



Shift、Alt、Ctrl キーは通常のキーボードと異なります。これらのキーはキー押下"Down"とキー放し"Up"の2つのステータス設定が必要となります。ソフトウェアキーボードでこれらのキーを1度クリックすると"Down"、もう1度クリックすると"Up"が値として表示されます。**"Shift、Alt、Ctrl キーは Down ステータスのままにせず、必ず Up ステータスを設定して閉じて下さい。"**

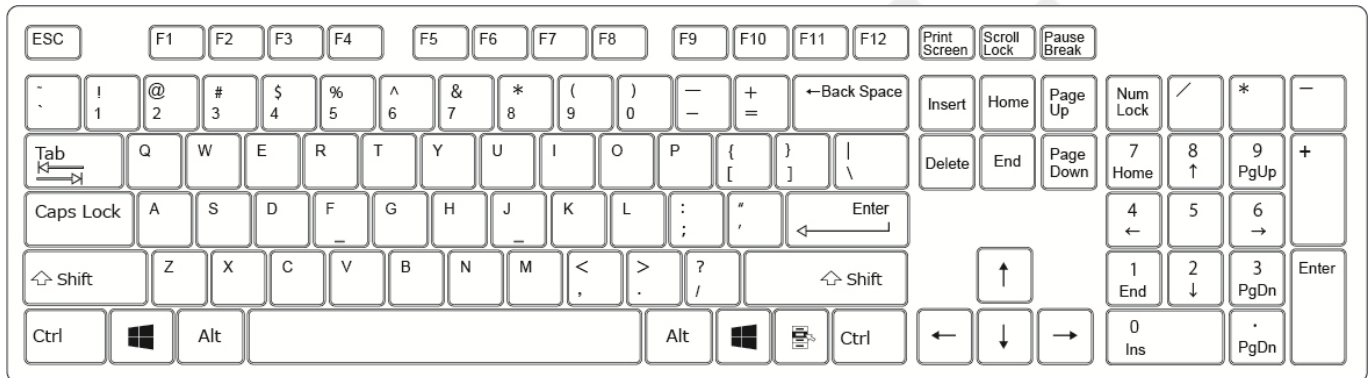
例えばウィンドウズショートカットキー「すべて選択」(Ctrl + A)を登録する場合以下のようになります。

左 Ctrl をクリック (Left Ctrl UP) -> A をクリック (A) -> 再度 左 Ctrl をクリック (Left Ctrl Down)

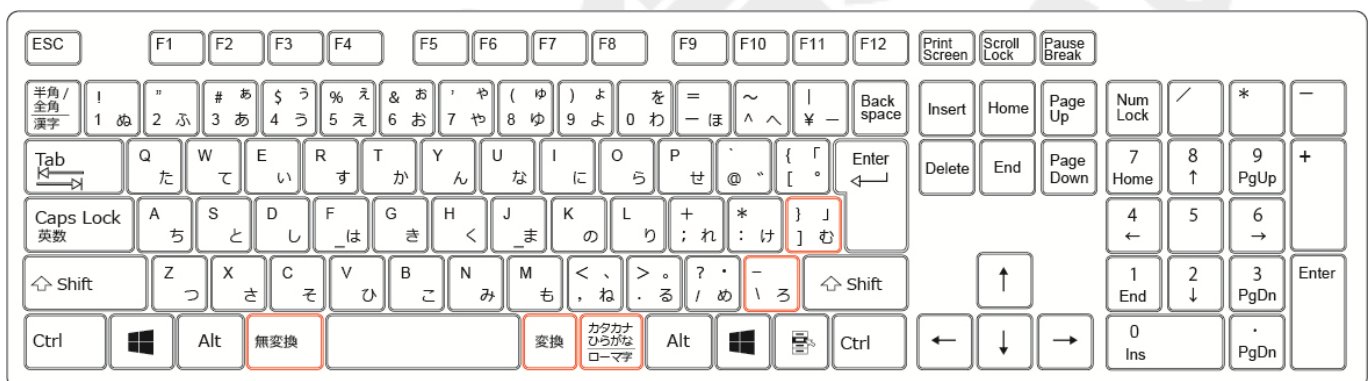
## ② Special Codes

Key code 画面で表示されるソフトウェアキーボードは英語 104 キー配列です。日本語配列キーボードにある特有キーは Special Code から登録します。英語 104 キー配列と日本語 109 キー配列の違いは"む"、"ろ"、"無変換"、"変換"、"カタカナ・ひらがな"の 5 キーが無い点です。（日本語 109 キー配列図の赤枠参照）

### ・ 英語 104 キー配列図



### ・ 日本語 109 キー配列図



設定ソフトではこれらの 5 キーを以下の様に登録できます。

日本語キー	Key Code Value 値	入力方法
む	5D	Special Codes ” Europe1”
ろ	51	Special Codes ” Ro”
無変換	67	Special Codes ” Muhenkan”
変換	64	Special Codes ” Henkan”
カタカナ・ひらがな	13	Special Codes ” Kata/Hira”

## ③ Hex Code

設定ソフト上の Keyboard や Special Codes にない値は Hex Code を入力し直接登録できます。Key Code 画面で表示される Value 値は USB HID to PS/2 Scan Code Translation Table 内の "PS/2 Set Make" の値です。

USB HID to PS/2 Scan Code Translation Table

<http://download.microsoft.com/download/1/6/1/161ba512-40e2-4cc9-843a-923143f3456c/translate.pdf>



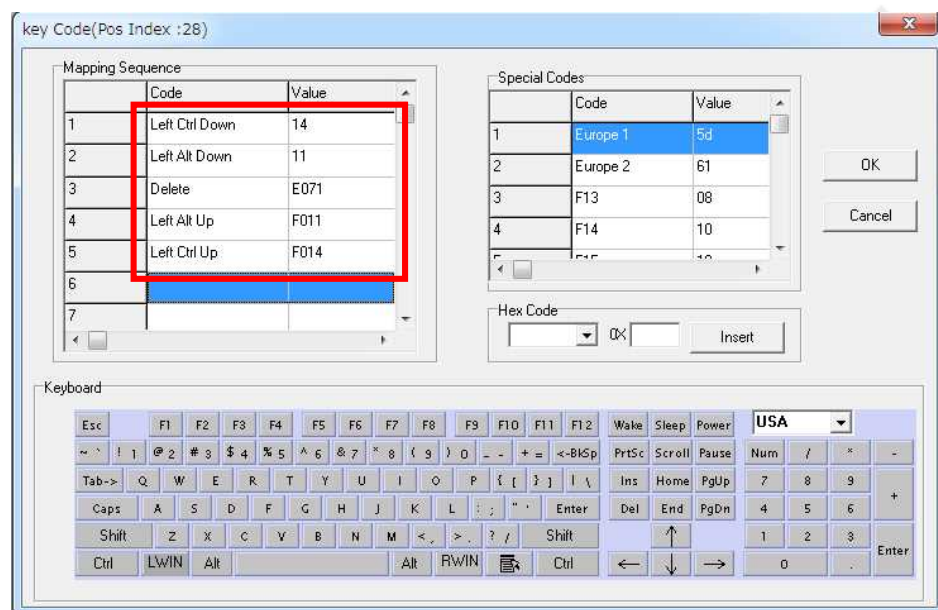
## VI. 補足事項・よくある質問

### Question:

キーに "Ctrl + Alt + Down" を設定したのですが、上手く動作しません。設定したキーを 2 回押すと反応したりします。

### Answer:

Ctrl、Alt、Shift キーは Down(押下)と Up (放す) の 2 つのステータスがあり、組合せキーは必ず Down と Up で閉じる必要があります。例として以下の赤枠が "Ctrl + Alt + Delete" キーの割当てコードになります。



### Question:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されている他のキーボードと連動してステータスが変化しますでしょうか？

### Answer:

Caps Lock キー、Num Lock キーは接続されているキーボードと連動します。独立して個別のステータスは保持しません。

### Question:

オプションの 1x2 倍キーを割当ててる場合はどの様にキー割当てを行えば良いでしょうか？

### Answer:

1x2 倍キー配置を行なう 1 倍キーのどちらかにキーを割当ててください。どちらかに設定をする事で、1x2 倍キーを押す部分によってはキー出力の押した感覚に若干の差が出ます。

**Question:**

プログラマブルキーボードの数字テンキー部分にもキーの割当てはできるのでしょうか？

**Answer:**

テンキー部分にも他キー同様にキー割当ての設定は行えます。キーボードキーにテンキー文字の印刷はされておりますが、出荷時にテンキー部分を含めて全てのキーにキーコードの割当てはされておられません。

**Question:**

キーを押しっぱなしにした際にキーを連続して出力するキーリピートは行なえますか？

**Answer:**

キーボードはキーリピート無しです。設定にてキーリピートの有無選択はできません。

**Question:**

キーボードのキーを押した時になる"ピッ"音を出すか出さないかの設定は行えますか？

**Answer:**

キー割当て設定ソフトウェアのメニューバーから "Keyboard -> Keyboard Setting" よりビープ音の設定選択は行なえます。

**Question:**

キーボードをパソコンに USB 接続した際に"ピー"という音が鳴ります。"ピー"音を消すことはできるのでしょうか？

**Answer:**

"ピー"音はキーボードに電源が入ったことをお知らせする音です。設定で音を消すことはできません。

## Ⅶ. 保証事項

### Ⅶ-1. 保証期間

- ・保証期間は納品日より1年間とします。但し、外観に関するキズ等による不具合は納品日より1ヶ月とします。
- ・保証期間内に正常な使用状態に於いて故障した場合は製品解析を行い、弊社起因による不良と判断された場合に交換または修理を致します。

### Ⅶ-2. 保証対象

- ・保証対象は納入品のみを対象とします。納入品の故障により誘発される損害は対象とされません。また、現地における製品修理・交換は行いません。
- ・納期延滞や不具合による対応はできる限り敏速に対応しますが、生産ラインの保証や損害は致し兼ねます。

### Ⅶ-3. 有償保証

- ・保証期間を過ぎた製品は有償での保証と致します。また、以下の場合は保証期間内におきましても有償保証となります。

- ①取扱不備による落下等の衝撃により生じた故障
- ②天災、火災により生じた故障
- ③製品が組み込まれている（または接続されている）他部品や機器に起因して生じた故障
- ④改造・分解により生じた故障

### Ⅶ-4. 仕様変更

- ・キーボードは標準品の為、機能に影響を及ぼさない範囲で事前告知無く仕様を変更する場合がございます。

株式会社ジェイダブルシステム

<http://www.jw-system.co.jp/>